

リファレンスガイド

オプション装置編

Apeos C8180

Apeos C7580

Apeos C6580

Contents

<u>1 大容量給紙トレイB1</u>	<u>4</u>
<u>2 大容量給紙トレイB1-S/C3-DS</u>	<u>9</u>
<u>3 インターフェイスデカーラー</u>	<u>24</u>
<u>4 インターポーザー</u>	<u>28</u>
<u>5 紙折りユニット</u>	<u>32</u>
<u>6 フィニッシャーC</u>	<u>35</u>
<u>7 フィニッシャーD</u>	<u>45</u>

はじめに

フィニッシャーなどのオプション装置の操作を記載しています。

6d 参照

- ・次のオプション商品は、記載箇所が異なります。
 - オフセットキャッチトレイ、シンプルキャッチトレイ：『リファレンスガイド 本体編』
 - 無線キット、プリント/スキャン/ファクス機能の関連商品：『リファレンスガイド 操作編』
 - 顔認証システム、指静脈認証システム、IC カードリーダー：弊社公式サイト

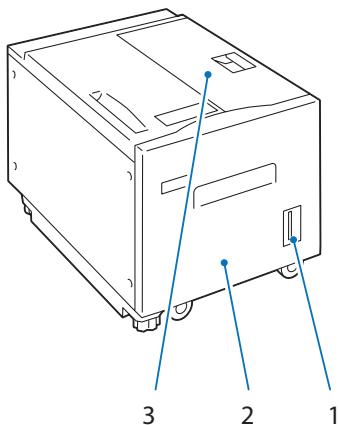
- ・このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- ・このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

このマニュアルのなかで  注意事項と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

本書の表記、商標については、『リファレンスガイド 本体編』を参照してください。

1 大容量給紙トレイB1

■各部の名称と働き



No.	名称	説明
1	残量表示	用紙の残量を確認できます。
2	大容量トレイ (用紙トレイ6)	用紙をセットします。
3	上面カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。

用紙のセット

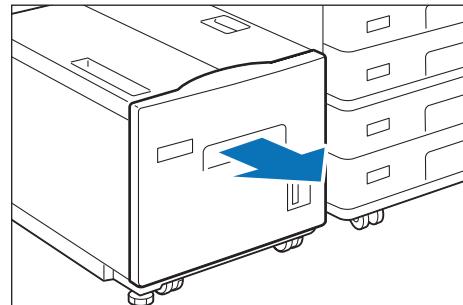
用紙をセットしたときは、ホーム画面で用紙トレイの設定をします。

68 参照

詳しくは、『リファレンスガイド 操作編』の「セットアップ」を参照してください。

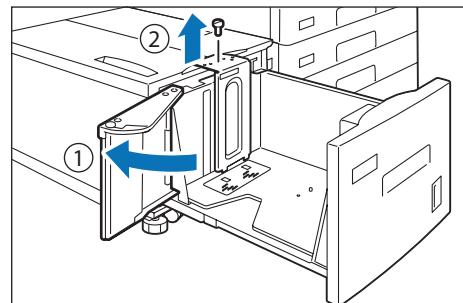
セットした用紙の上面が印字面になります。

- 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
- 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

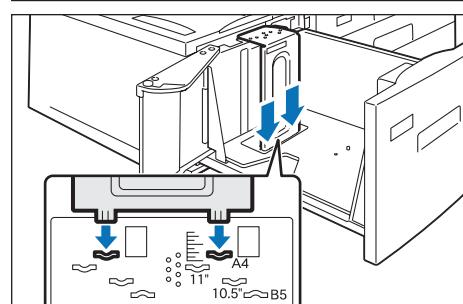


- 用紙サイズを変更する場合は、ガイドの位置を調整します。

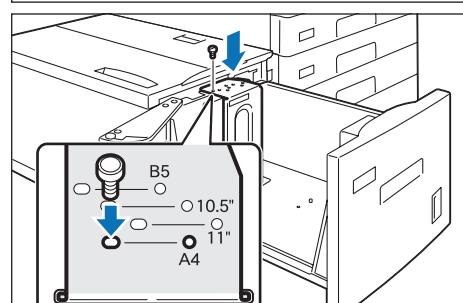
- (1) エンドガイドを開いて (①)、奥のガイドのネジを外し (②)、ガイドを用紙トレイから外します。



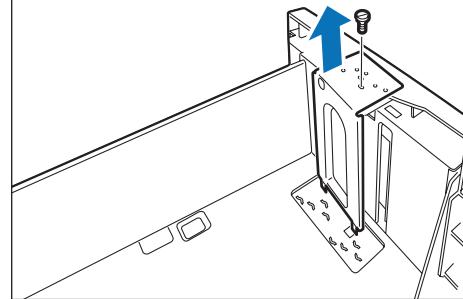
- (2) ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込みます。



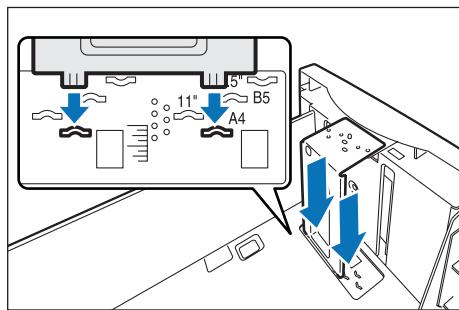
- (3) ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます。



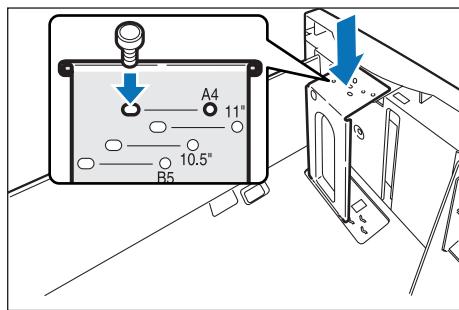
- (4) 手前のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。



(5) ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込みます。



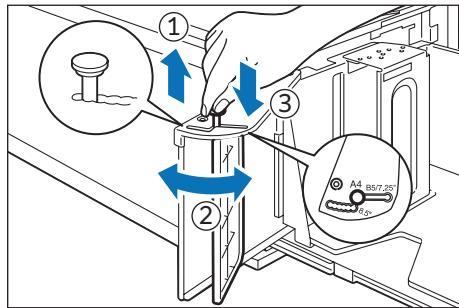
(6) ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます。



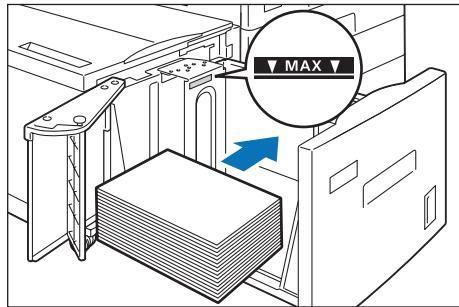
(7) エンドガイドのレバーを引き上げ (①)、レバーを溝に沿って移動させながら用紙サイズに合わせて (②)、レバーを下ろします (③)。

補足

エンドガイドの8.5"の左側の溝は使用しません。

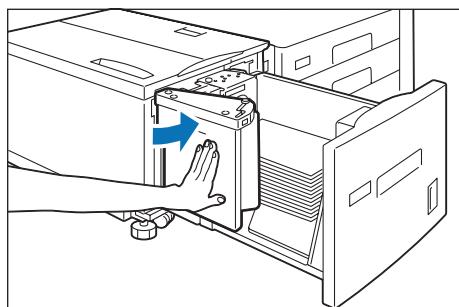


4. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえてセットします。



5. エンドガイドをしっかりと閉じます。

6. 用紙トレイを押し込みます。



特殊用紙のセット

■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が右側

用紙が詰まった場合

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

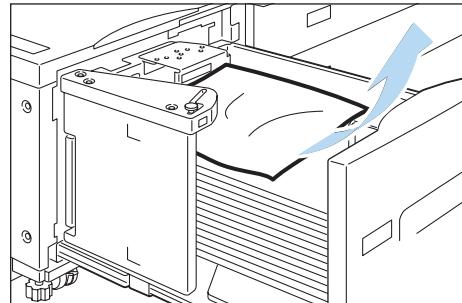
紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は【スタート】をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

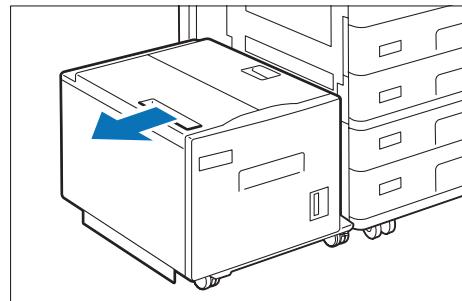
用紙トレイ

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 詰まっている用紙を取り除きます。
3. 用紙トレイを押し込みます。

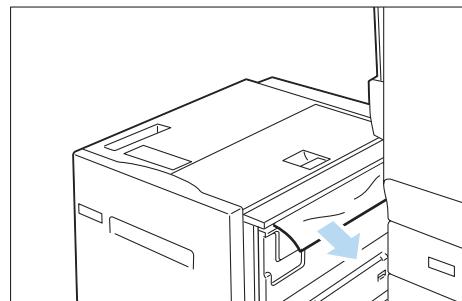


排出口

1. 取っ手を持って、ユニットをいっぱいまで左に移動します。

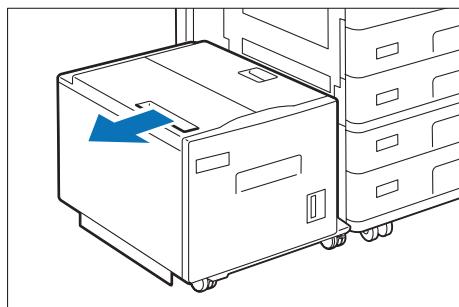


2. 詰まっている用紙を取り除きます。
3. ユニットを右に移動し、本体と接続させます。

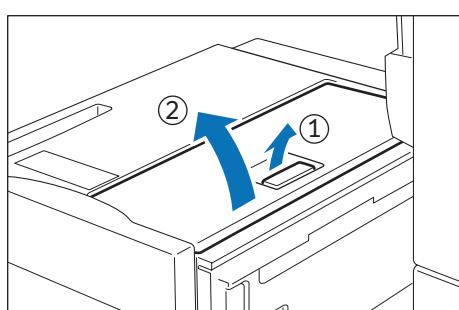


■上面カバー内部

1. 取っ手を持って、ユニットをいっぱいまで左に移動します。



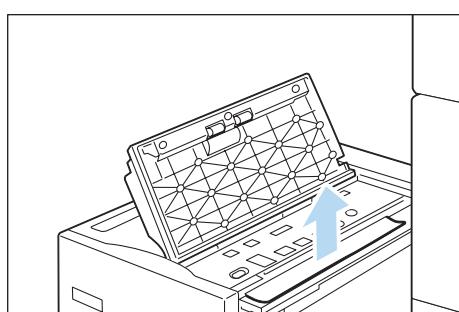
2. レバーを引いて (①)、カバーを開きます (②)。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。

4. カバーを閉じます。

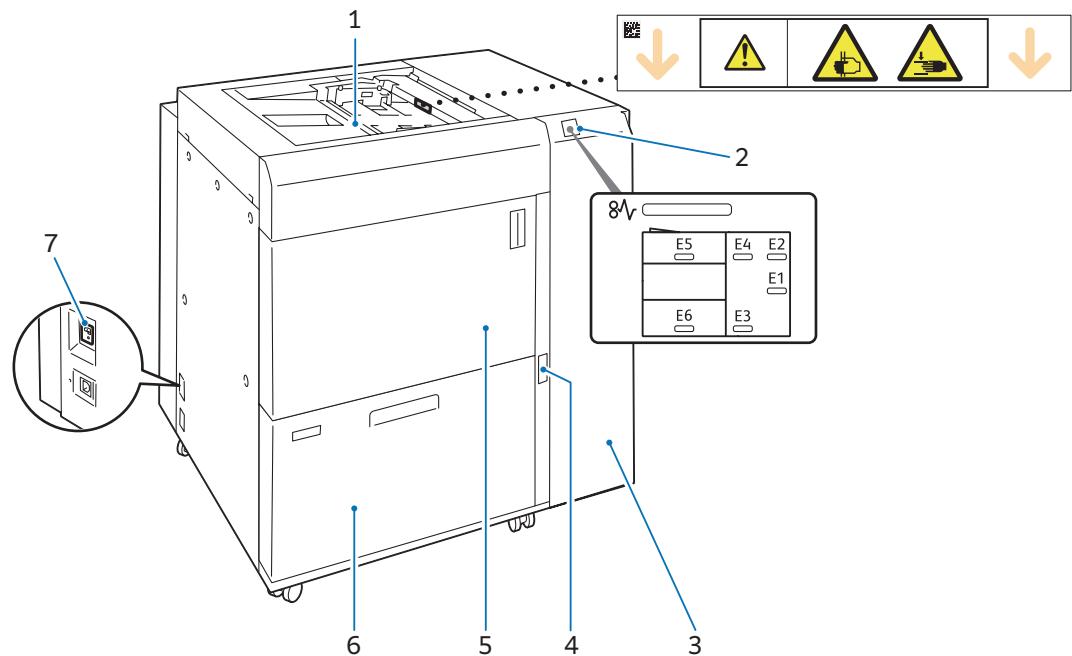
5. ユニットを右に移動し、本体と接続させます。



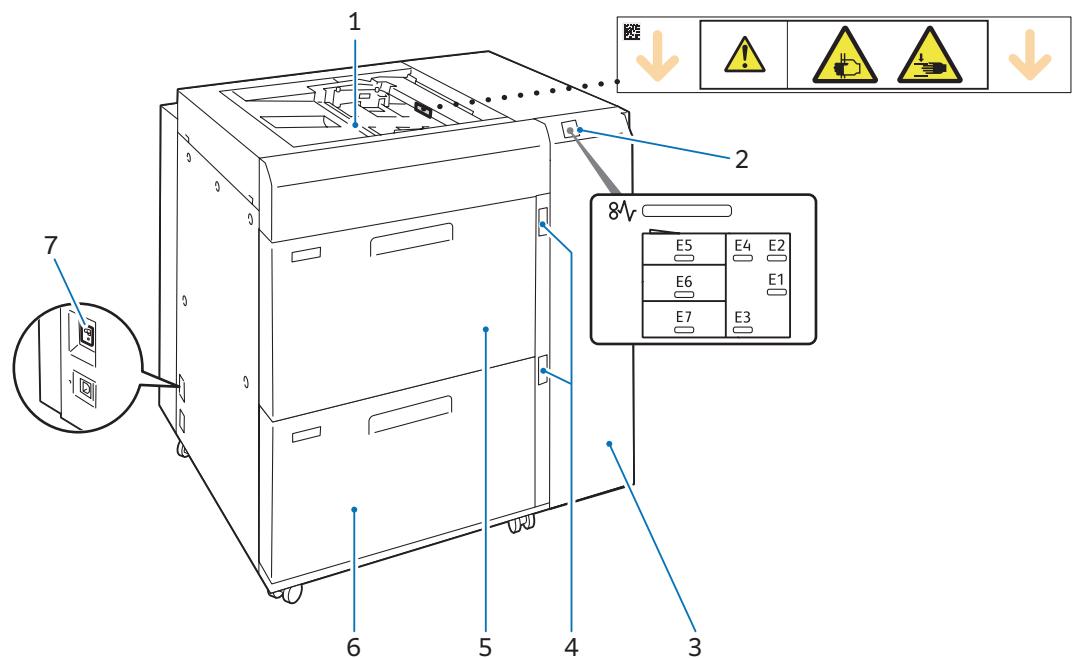
2 大容量給紙トレイB1-S/C3-DS

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置

B1-S



C3-DS



No.	名称		説明
1	手差しトレイ (用紙トレイ5)		用紙をセットします。
2	エラーランプ		紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 優先装置ランプ (一番上) が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
3	右側カバー		紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。
4	残量ランプ		用紙トレイが動作中の場合は、1番上の使用中ランプが点灯します。 中央の4つのランプ (1つ=25%) で用紙の残量を確認できます。 用紙補給ランプが点灯したら、用紙は空です。
5	B1-S	消耗品収納部	用紙や消耗品を収納します。
	C3-DS	大容量トレイ (用紙トレイ6)	用紙をセットします。
6	B1-S	大容量トレイ (用紙トレイ6)	用紙をセットします。
	C3-DS	大容量トレイ (用紙トレイ7)	
7	漏電ブレーカー		漏電を検知すると、自動的に電源を遮断するスイッチです。

漏電ブレーカー

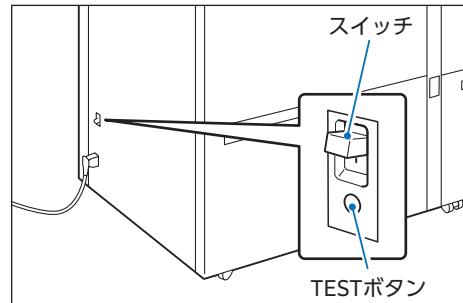
長時間使用しないときや移動するときは、スイッチを下側にして、電源を遮断します。



補足

電源は、漏電を検知すると自動で遮断されますので、通常は操作しないでください。

漏電については、『取扱説明書』を参照してください。



用紙のセット

用紙をセットしたときは、ホーム画面で用紙トレイの設定をします。

68 参照

詳しくは、『リファレンスガイド 操作編』の「セットアップ」を参照してください。

■大容量トレイへのセット

セットした用紙の上面が印字面になります。

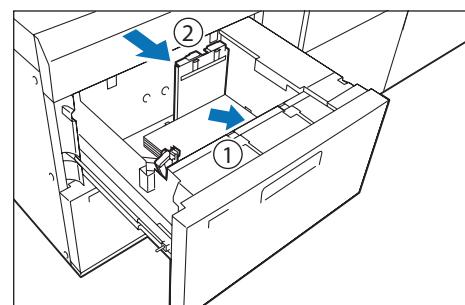
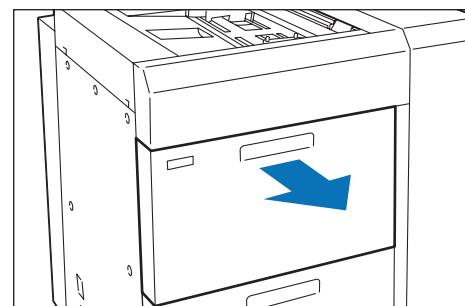
※ 注記

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

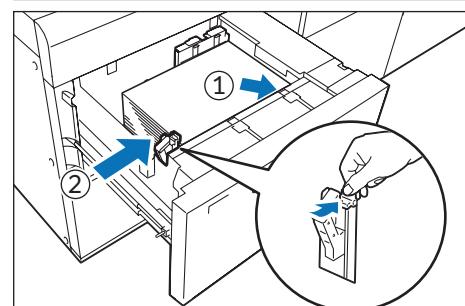
■ 補足

- セットする用紙が100枚以下の場合、ガイドが用紙に強く当たるため、用紙が変形して紙詰まりの原因となることがあります。
- ガイドは、用紙サイズに正しく合わせてください。ガイドの位置がずれると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。
- 底板の上昇中に電源が切れた場合、電源を再度入れたときに底板が上がらなくなることがあります。このような場合は、用紙トレイを一度引き出し、底板が下がったことを確認してから、ゆっくりと確実に押し込んでください。
- 用紙のセット後や給紙のときに、空気を送り出す音がします。これは、エアアシスト機能が働いている音で、異常音ではありません。

- 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
- 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。
- 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえて約100~500枚セットします(①)。
- 縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます(②)。



- 印字面を上にして、残りの用紙を矢印の方向にそろえてセットします(①)。
- 横ガイドを用紙サイズに合わせます(②)。
広げるときは、ガイドクリップを指でつまんで、ガイドを移動させます。
縮めるときは、ガイドを押して移動させます。



用紙送り出し精度のレバーが通常の位置になっていることを確認してください。また、用紙を正しくセットしても、斜めにプリントされる(印字位置がずれる)ときは、用紙送り出し精度の切り替えを有効にしてください。

■ 補足

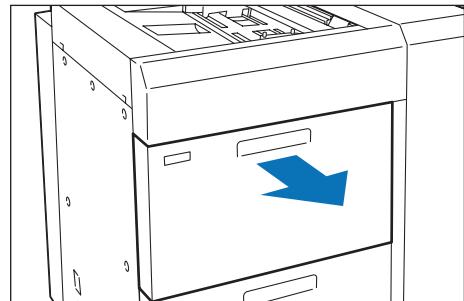
「用紙の送り出し精度の切り替え」(P.14)

7. 用紙トレイを押し込みます。

はがきのセット

用紙トレイに付属のはがきセットガイドを使用すると、たて：100～181 mmの用紙をセットできます。

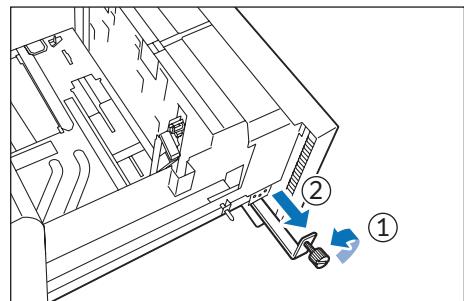
- 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
- 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



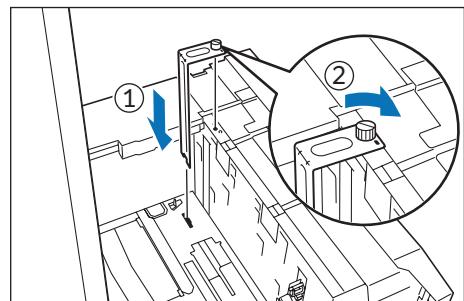
- 用紙トレイに付属のガイドを使用するときは、用紙トレイの左側にある、ガイドのネジをゆるめて(①)、取り外します(②)。

補足

- C3-DSのはがきセットガイドは上段の用紙トレイにあります。
- B1-Sのはがきセットガイドは下段の用紙トレイにあります。



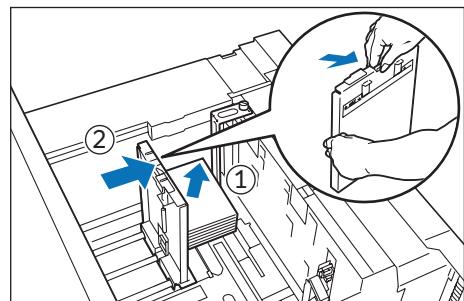
- 底面右側の切り込みと手前のネジ穴に、ガイドを差し込み(①)、ガイドのネジを締めて固定します(②)。



- 印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえて約100～500枚セットします(①)。

補足

- 必ず、よこ置きでセットしてください。
- セットしたはがきの右側が用紙前端になります。

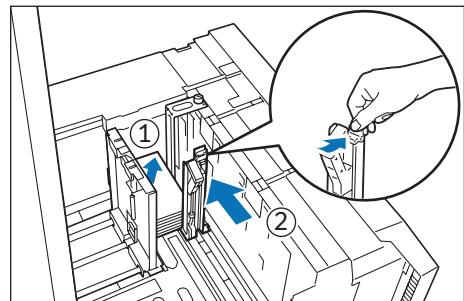


- 縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます(②)。

- 印字面を上にして、残りの用紙を矢印の方向にそろえてセットします(①)。

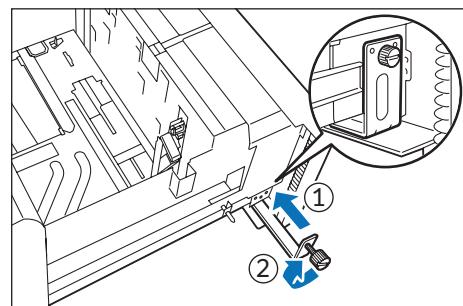
- 横ガイドを用紙サイズに合わせます(②)。
広げるときは、ガイドクリップを指でつまんで、ガイドを移動させます。
縮めるときは、ガイドを押して移動させます。

- 用紙トレイを押し込みます。



10. 取り外すときは、ガイドのネジを完全にゆるめてから取り外します。

11. 取り外したガイドは、用紙トレイ左側の所定の位置に差し込み（①）、ネジを締めて（②）保管します。



特殊用紙のセット

■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が右側

■ インデックス紙

用紙の向き：正面に向かって、タブが左側

封筒のセット

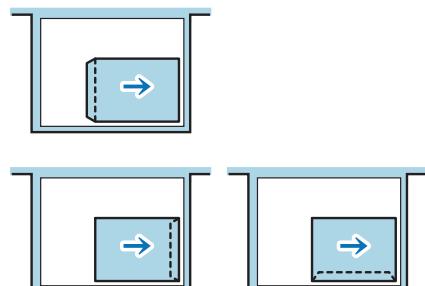
■ セット前

封筒の状態を確認します。

- ・カールや端部の波打ちなどがないこと
カール、端部の波打ちが大きい場合は封筒の交換、または矯正で良化します。
- ・貼りつきがないこと
貼りついているときは、糊や貼り合わせ部の重なりを取り除きます。
- ・糊のはみ出しがないこと
はみ出しているときは、糊を拭き取ります。
- ・封筒折れがないこと

■ セット方法

- ・セット面：プリントする面を上向き
- ・フラップを開けた状態の用紙の向き：正面に向かって、フラップが左側
- ・フラップを閉じた状態の用紙の向き：正面に向かって、フラップが右、または手前側



注記

封筒を大量にセットしないでください。大量にセットすると、封筒が傾き、故障するおそれがあります。

補足

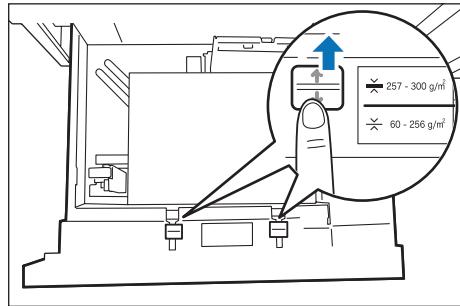
- ・フラップを開けた状態でセットすると、定形サイズとして自動検知されません。
- ・のり付きの封筒は、フラップを閉じてセットしてください。
- ・フラップを閉じて手前側に向けてセットした場合、配置されている画像によっては、用紙後端の画像部分に印字不良が発生することがあります。
- ・封筒ごとに厚みに差があると、重送が検知されることがあります。
- ・用紙がカールしている場合は、カール補正をしてください。
- ・用紙バリ（用紙の裁断面に生じる突起）がある場合は、よくさばいてください。

■ 用紙の設定

- ・セット用紙種類：封筒
- ・用紙坪量：用紙に表示されている坪量
- ・用紙サイズ：フラップ閉じた状態では定形サイズ、フラップを開けた状態では非定形サイズ

坪量切り替えボタン (B1-S)

257 g/m²以上の用紙を使用するときに切り替えます。



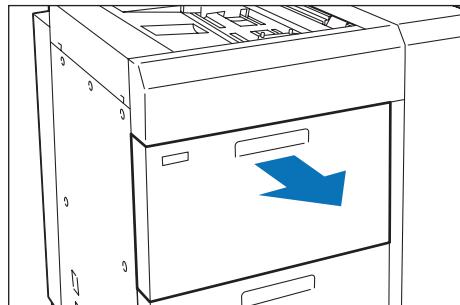
用紙の送り出し精度の切り替え

用紙坪量が220 g/m²以下の普通紙で、用紙を正しくセットしても、斜めにプリントされる（印字位置がずれる）ときに有効にすると、印字ずれが改善することがあります。

補足

- 厚紙や普通紙以外の用紙では、有効にすると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。
- はがきセットガイドを使用したときは効果がありません。

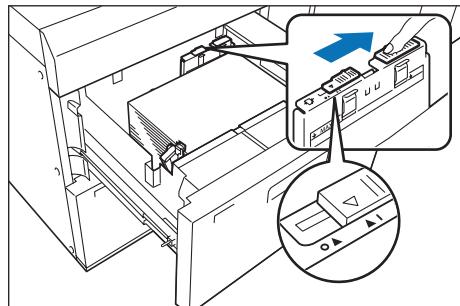
1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。



2. 縦ガイドの上部にあるレバーを右いっぱい(<I>の位置)まで移動し、切り替えを有効にします。

補足

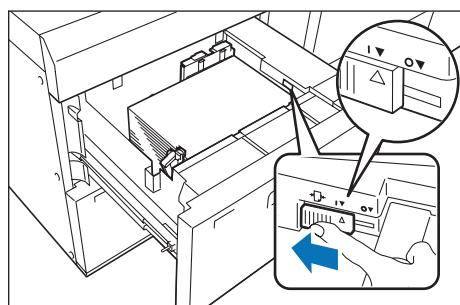
元に戻す場合は、レバーを左いっぱいまで移動します。



3. 2を実施しても、用紙送り出しの精度が上がらない場合は、右側手前のレバーを奥いっぱい(<I>の位置)まで移動し、切り替えを有効にします。

補足

元に戻す場合は、レバーを手前いっぱいまで移動します。



4. 用紙トレイを押し込みます。

目的の用紙を使い終わったら、通常の位置<○>に、レバーを戻します。

■手差しトレイへのセット

セットした用紙の上面が印字面になります。

注記

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

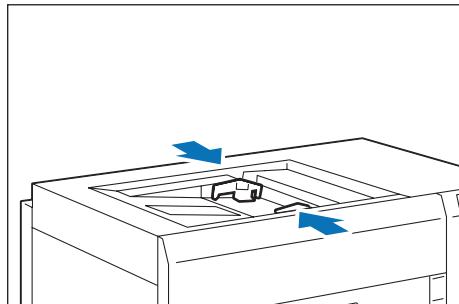
補足

- 用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかったりすると紙詰まりの原因となります。
- コート紙は、1枚だけセットできます。

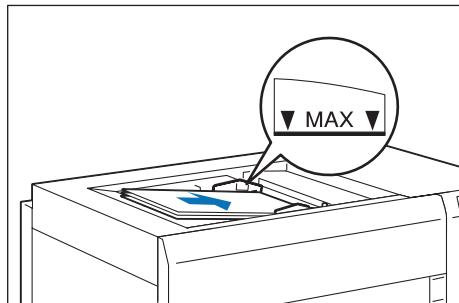
複数枚セットしたときの画質と用紙走行性を保証していません。

スライドタイプ

- 用紙ガイドを調整し、セットする用紙のサイズに合わせます。

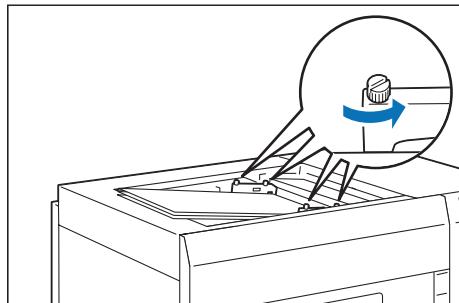


- 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。
- 非定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズに合うように、用紙ガイドを微調整します。

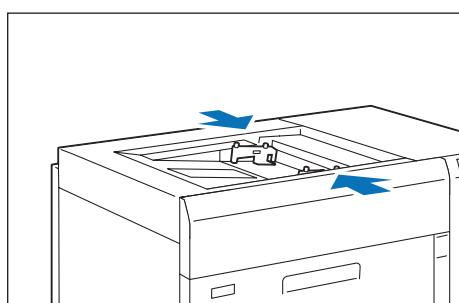


フレキシブルタイプ（長尺用）

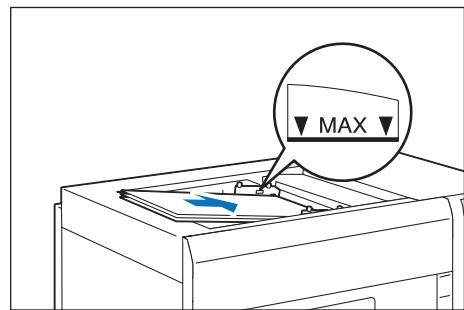
- 用紙ガイドのネジ（4か所）をゆるめます。



- 用紙ガイドの中央部を持ち、セットする用紙のサイズに合わせます。



3. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。
4. 用紙ガイドのネジ（4か所）を固定します。



特殊用紙のセット

■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が右側

■ インデックス紙

用紙の向き：正面に向かって、タブが左側

■ はがき

用紙の向き：よこ置き

用紙が詰まった場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は【スタート】をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

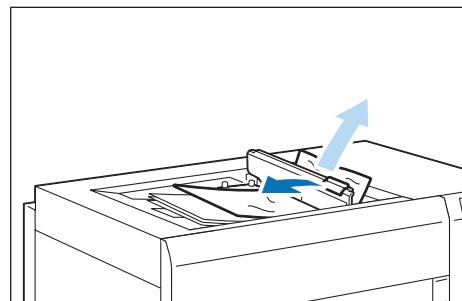
用紙トレイ

1. 詰まっている用紙を取り除きます。

ランプE5が点灯したとき	P.17
ランプE6が点灯したとき (C3-DS)	P.17
ランプE6が点灯したとき (B1-S)、ランプE7が点灯したとき (C3-DS)	P.18
.....

■ ランプE5が点灯したとき

- (1) 上部カバーを開き、詰まっている用紙とトレイにセットしてある用紙のすべてを取り除きます。
- (2) カバーを閉じます。
- (3) 取り出した用紙の四隅をそろえ、用紙をセットし直します。



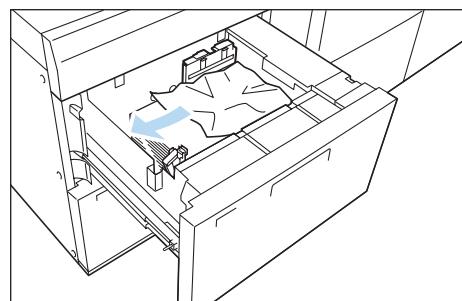
■ ランプE6が点灯したとき (C3-DS)

- (1) 用紙トレイ6をいっぱいまで引き出します。

補足

引き出す前に、右側カバー内部に用紙が詰まっていないことを確認してください。

- (2) 詰まっている用紙を取り除きます。
- (3) 用紙ガイドの位置を確認し、用紙トレイを押し込みます。



.....
■ ランプE6が点灯したとき (B1-S)、ランプE7が点灯したとき (C3-DS)

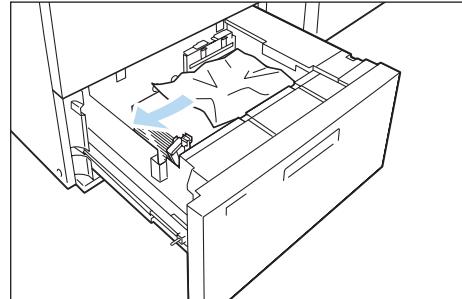
(1) 用紙トレイ6 (または7) をいっぱいまで引き出します。

 **補足**

引き出す前に、右側カバー内部に用紙が詰まっていないことを確認してください。

(2) 詰まっている用紙を取り除きます。

(3) 用紙ガイドの位置を確認し、用紙トレイを押し込みます。



■右側カバー内部

1. 右側カバーを開けます。

2. 詰まっている用紙を取り除きます。

ランプE1が点灯したとき P.18

ランプE2が点灯したとき P.18

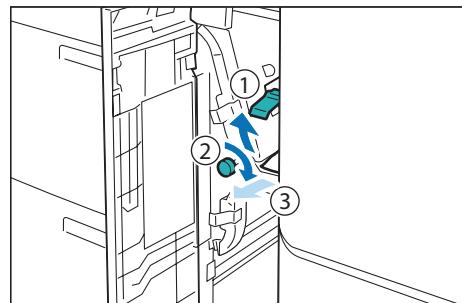
ランプE3が点灯したとき P.19

ランプE4が点灯したとき P.19

.....
■ ランプE1が点灯したとき

(1) レバー [1d] を上方向に開いて (①)、ノブ [1c] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

(2) レバー [1d] を戻します。



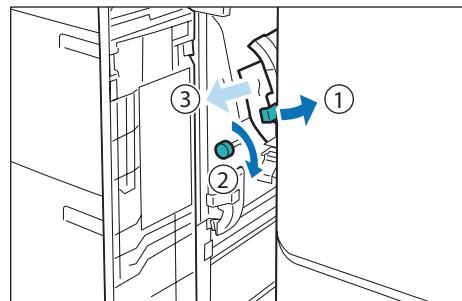
.....
■ ランプE2が点灯したとき

(1) レバー [1a] を右方向に開いて (①)、ノブ [1c] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

 **補足**

ノブ [1c] は3回転以上回してください。

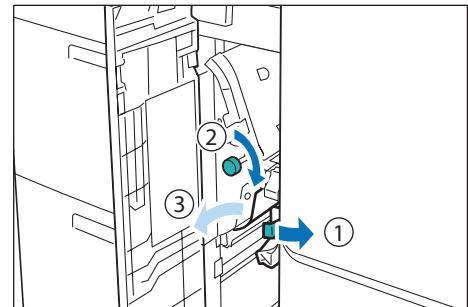
(2) レバー [1a] を戻します。



.....
■ ランプE3が点灯したとき

(1) レバー [1b] を右方向に開いて (①)、ノブ [1c] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

(2) レバー [1b] を戻します。

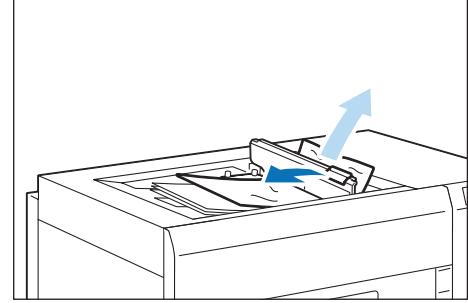
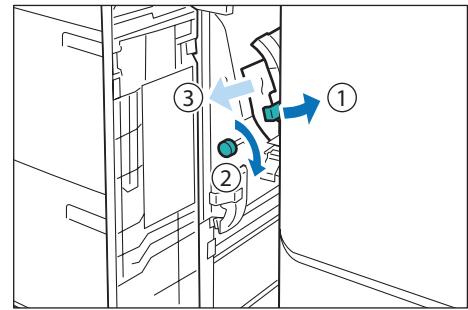


.....
■ ランプE4が点灯したとき

(1) レバー [1a] を右方向に開いて (①)、ノブ [1c] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

(2) 用紙が取りづらい場合は、上面カバーを開き、詰まっている用紙を取り除きます。

(3) レバー [1a] を戻します。



.....
3. カバーを閉じます。

機械の清掃

- ・清掃には、各手順で指定されたものをご使用ください。
- ・湿拭きをする場合は、水でぬらして固く絞った柔らかい布を使用します。水気が残っていると、機械が故障するおそれがあります。
- ・紙粉の清掃には、一般に販売されているドライタイプの不織布の使用が効果的です。不織布は、軽くなければ汚れや埃を拭き取ることができる、柔らかく吸着性の高いものを使用してください。薬品類や研磨剤が付いている不織布は使用しないでください。
- ・ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。プラスチック部品の塗装、コーティングなどを傷めることができます。

補足

清掃したあとは、確実にカバーを閉じてください。カバーが開いたままだと、エラーになり、プリントできません。

用紙の走行

清掃すると、一時的に白点が多く発生します。清掃したあとに用紙走行を実施すると、清掃効果が向上します。

1. C100%とM100%のデータをSRA3、またはA3サイズで作成します。
2. このデータをSRA3、またはA3サイズの用紙に両面で20枚程プリントします。

内部の清掃

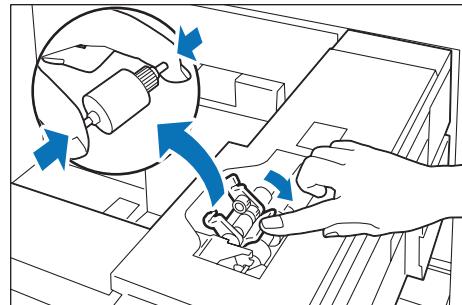
No.	清掃項目	頻度	ページ
1	大容量トレイの清掃	毎週（用紙ガイド、フィーダーカバー内のローラーに紙粉汚れが目立つ場合）	P.20
2	大容量トレイからの用紙搬送部（右側カバー内部）の清掃	毎週	P.22

補足

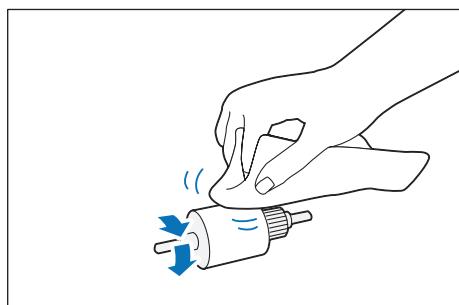
清掃後、ローラー表面や用紙搬送面に異物がないことを確認してください。

■大容量トレイの清掃

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 用紙トレイ右側にあるフィーダーカバー内のローラーを清掃します。
(1) ローラー1のホルダーを矢印方向に倒し、ローラー1のピンをつまんで取り外します。



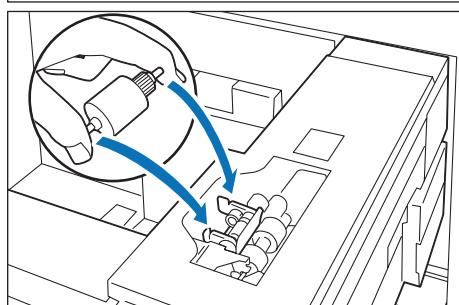
(2) 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、ローラー1の表面を拭きます。



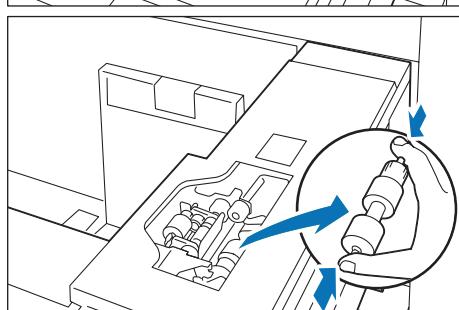
(3) ローラー1を取り付けます。



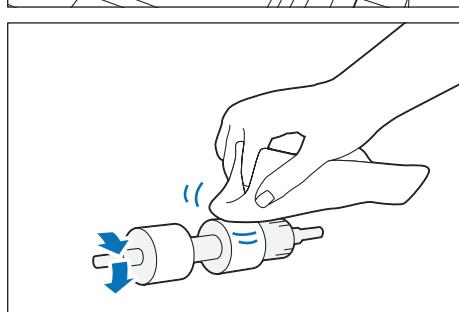
ピンがきちんとホルダーに収まっているかを確認してください。



(4) ローラー2のピンをつまんで取り外します。



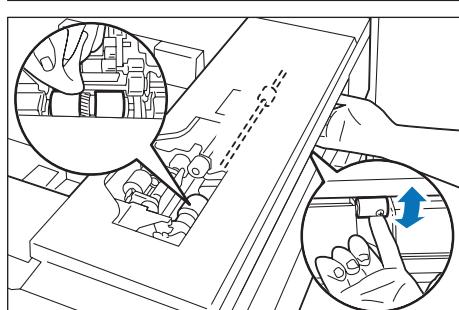
(5) ローラー2の表面を拭きます。



(6) 片手でシャフトを回しながら、もう一方の手でローラー3の表面を拭きます。



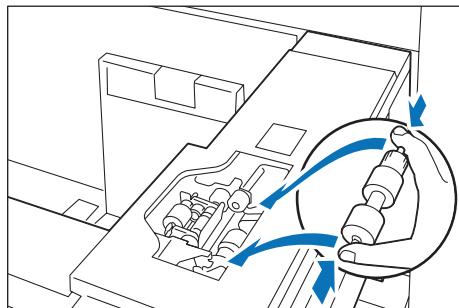
ローラー3は、ローラー2をはずしたままで清掃します。



(7) ローラー2を取り付けます。

3. 用紙トレイを押し込みます。

4. もう1つの用紙トレイを、1~3の手順で清掃します。



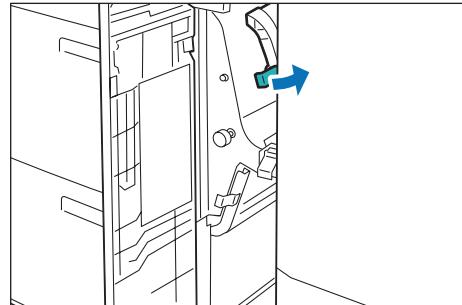
■大容量トレイからの用紙搬送部（右側カバー内部）の清掃

補足

- ・清掃中はローラーを押さないでください。ローラーを押すと、ローラーが脱落することがあります。
- ・紙粉の清掃には、ドライタイプの不織布を使用すると効果的です。

1. 右側カバーを開けます。

2. レバー [1a] を右方向に開きます。

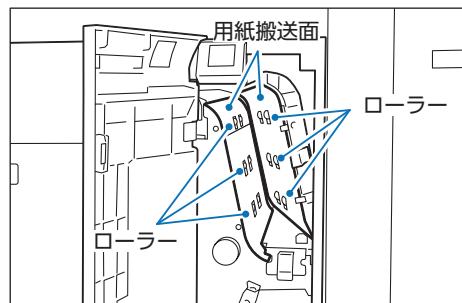


3. レバー [1a] の内側を清掃します。

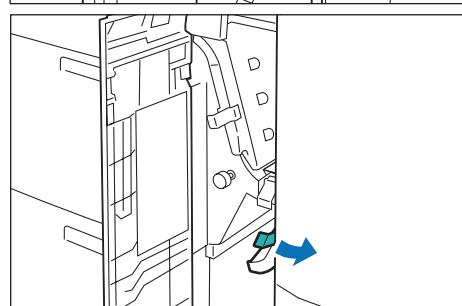
(1) 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、ローラーの表面を拭きます。

(2) 用紙搬送面に付着する紙粉を拭き取ります。

4. レバー [1a] を戻します。



5. レバー [1b] を右方向に開きます。

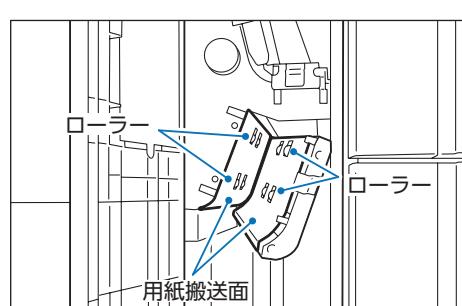


6. レバー [1b] の内側を清掃します。

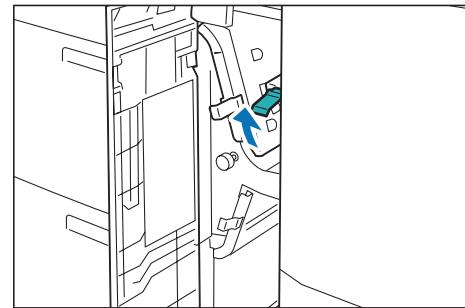
(1) 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、ローラーの表面を拭きます。

(2) 用紙搬送面に付着する紙粉を拭き取ります。

7. レバー [1b] を戻します。



8. レバー [1d] を上方向に開きます。



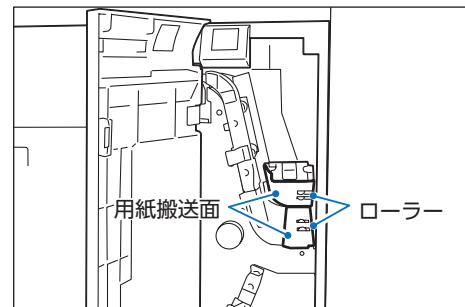
9. レバー [1d] の内側を清掃します。

(1) 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、ローラーの表面を拭きます。

(2) 用紙搬送面に付着する紙粉を拭き取ります。

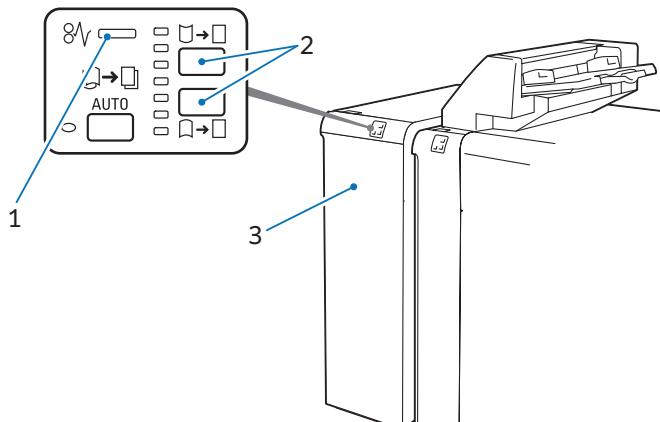
10. レバー [1d] を戻します。

11. カバーを閉じます。



3 インターフェイスデカララー

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置



No.	名称	説明
1	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 ランプが点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
2	カール補正ボタン	ボタンを押すと、用紙のカールを補正できます。このカール補正機能は、プリント中の補正用です。
3	カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。

カール補正

カール補正ボタンによって、熱や圧力による用紙のカールを補正できます。

カール補正ボタンは、機械の電源が入っているときは、機械の状態にかかわらず操作できます。

補足

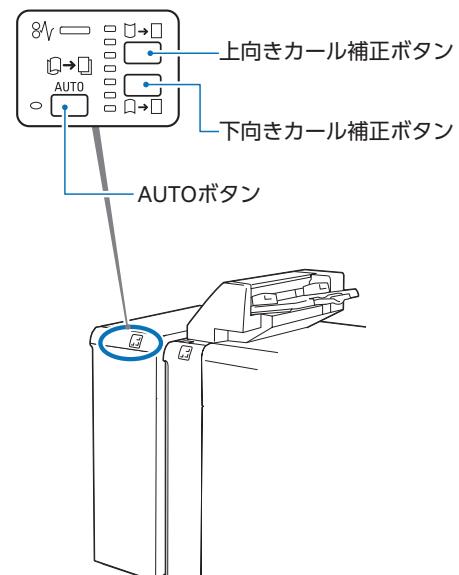
- このカール補正機能は、プリント中の補正用です。用紙特性に合わせたきめ細かな補正は、操作パネルで行います。
- ステープルはカールの影響を受けやすいため、排出される用紙のカール方向を確認し、常にカール補正をしてください。
- 機械が動作中に補正した場合、ボタンを押した直後の排出用紙から適用されます。

1. 用紙がカールしている向きを確認します。

2. カール補正ランプが点灯していることを確認し、ボタンを押します。

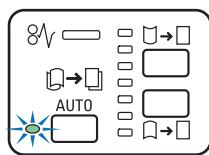
補足

- [AUTO] モードで用紙を走行させたときに、一瞬だけ、現在のカール補正の方向や強さを示すランプが点灯します。手動でカール補正をするときは、このランプの点灯を目安にして調整してください。
 - 上向きカール補正ボタン、または下向きカール補正ボタンを押してカール補正をしたあとに、厚紙やエンボス紙、OHPフィルムを走行する場合は、[AUTO] モードに自動で切り替わり、標準的な補正値で、カール補正をします。
- これらの用紙で、[AUTO] モードに自動で切り替わらない設定に変更することもできます。詳しくは、弊社の営業担当者、またはカストマーコンタクトセンターにお問い合わせください。



カール補正機能の動作と機能

AUTOボタンを押すと、[AUTO] モードになります。



ランプ表示	モード	機能
	AUTO	自動的にカール補正をします。 通常は、このモードで使用することをおすすめします。 用紙サイズや排出する向きなどに応じて、最適なカール補正をします。
	OFF	カール補正をしません。
	上向きカール	排出された用紙が上向きにカールしているときに、上向きカール補正をします。 上向きカール補正ボタンを押すたびに、補正の度合いが切り替わります。 ランプの点灯が上にいくほど、補正の度合いが強くなります。
	下向きカール	排出された用紙が下向きにカールしているときに、下向きカール補正をします。 下向きカール補正ボタンを押すたびに、補正の度合いが切り替わります。 ランプの点灯が下にいくほど、補正の度合いが強くなります。

用紙が詰まった場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。ランプが点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は【スタート】をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

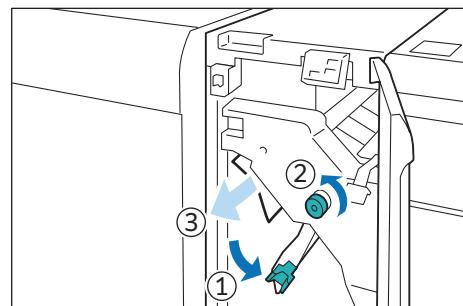
紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

1. カバーを開けます。

2. レバー [1a] を下方向に開いて (①)、ノブ [1b] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

補足

- ・ノブは必ず、10回以上回してください。
- ・用紙を取り除くときは、必ず、ゆっくりと引きながら、取り除いてください。
- ・詰まった用紙が上部に隠れていることがあります。

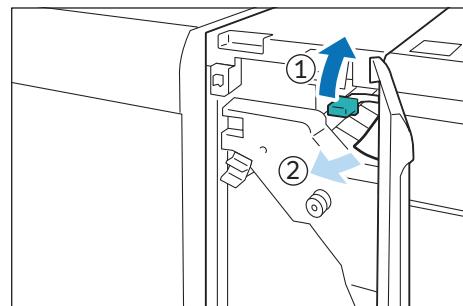


3. レバー [1a] を戻します。

4. 用紙が取りづらい場合は、レバー [1c] を上方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

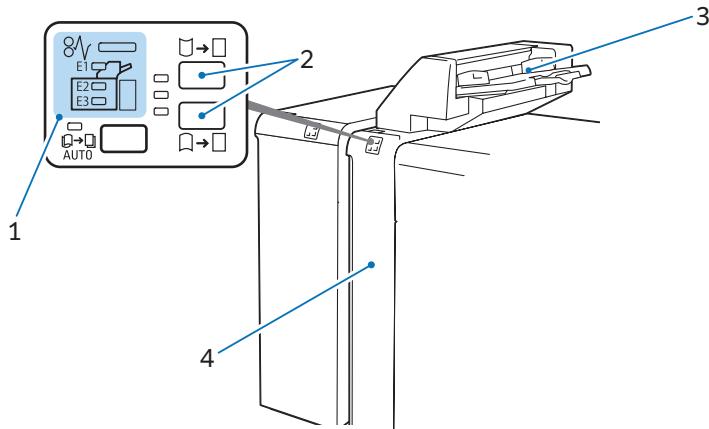
5. レバー [1c] を戻します。

6. カバーを閉じます。



4 インターポーザー

■各部の名称と働き



No.	名称	説明
1	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
2	カール補正ボタン	インターフェイスデカーラーの補正を一番上（または一番下）にしても、まだカールが直らないときに使用します。 補正方法は、インターフェイスデカーラーと同じです。ただし、補正の度合いは、OFF/上向き/下向きの3段階になります。 68 参照 「カール補正」（P.25）
3	合紙/表紙トレイ (用紙トレイT1)	合紙や表紙に使用する用紙をセットします。
4	カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。

用紙のセット

合紙や表紙に使用する用紙（白紙やプリントした用紙など）をセットします。

なお、合紙/表紙トレイは、合紙や表紙に使用する用紙をセットするためのトレイで、プリントはできません。

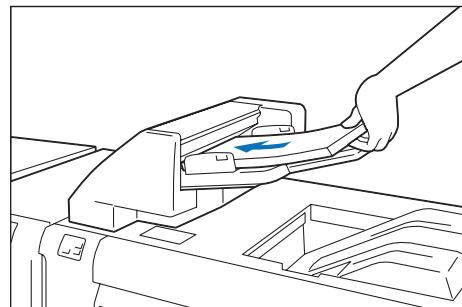
補足

- トレイに残っている用紙をすべて取り出してから、追加する用紙と一緒に再度セットしてください。
- 中とじ/二つ折りは、本文（プリンター本体から排出される用紙）と同じ用紙サイズのときだけ可能です。
- 先に用紙をセットしてからジョブを開始してください。

1. 用紙をさばき、用紙を用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。

注記

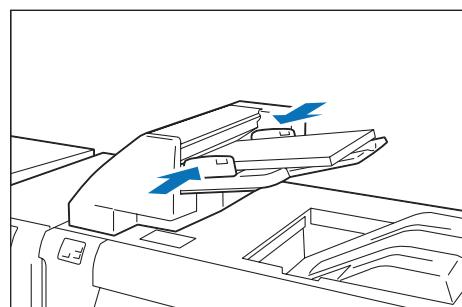
用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。



2. 用紙ガイドを調整し、セットする用紙のサイズに合わせます。

補足

用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかたりすると紙詰まりの原因となります。



特殊用紙のセット

■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が右側

■ インデックス紙

用紙の向き：正面に向かって、タブが左側

用紙が詰まった場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は【スタート】をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

1. 詰まっている用紙を取り除きます。

ランプE1が点灯したとき P.30

ランプE2が点灯したとき P.30

ランプE3が点灯したとき P.31

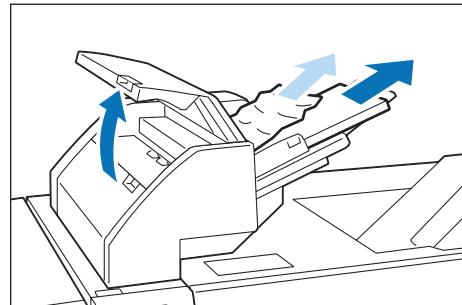
.....

■ ランプE1が点灯したとき

(1) 上部カバーを開き、詰まっている用紙とトレイにセットしてある用紙のすべてを取り除きます。

(2) カバーを閉じます。

(3) 取り出した用紙の四隅をそろえ、用紙をセットし直します。



.....

■ ランプE2が点灯したとき

(1) カバーを開けます。

(2) レバー [1a] を上方向に開いて (1)、ノブ [1b] を左方向に回し (2)、詰まっている用紙を取り除きます (3)。

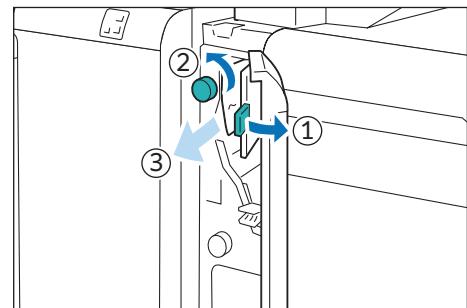
(3) レバー [1a] を戻します。



(4) 用紙が取りづらい場合は、レバー [1c] を右方向に開いて (①)、ノブ [1b] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

(5) レバー [1c] を戻します。

(6) カバーを閉じます。



■ ランプE3が点灯したとき

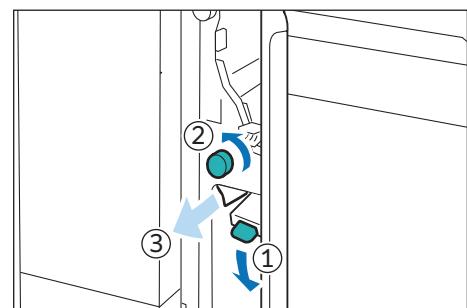
(1) カバーを開けます。

(2) レバー [1d] を下方向に開いて (①)、ノブ [1e] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

補足

詰まった用紙が上部に隠れていることがあります。

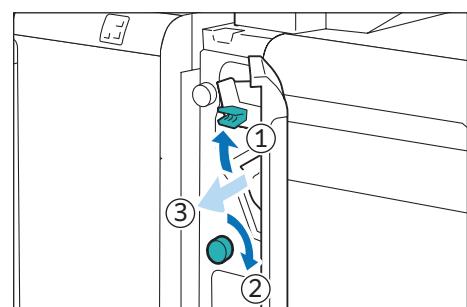
(3) レバー [1d] を戻します。



(4) 用紙が取りづらい場合は、レバー [1a] を上方向に開いて (①)、ノブ [1e] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

(5) レバー [1a] を戻します。

(6) カバーを閉じます。



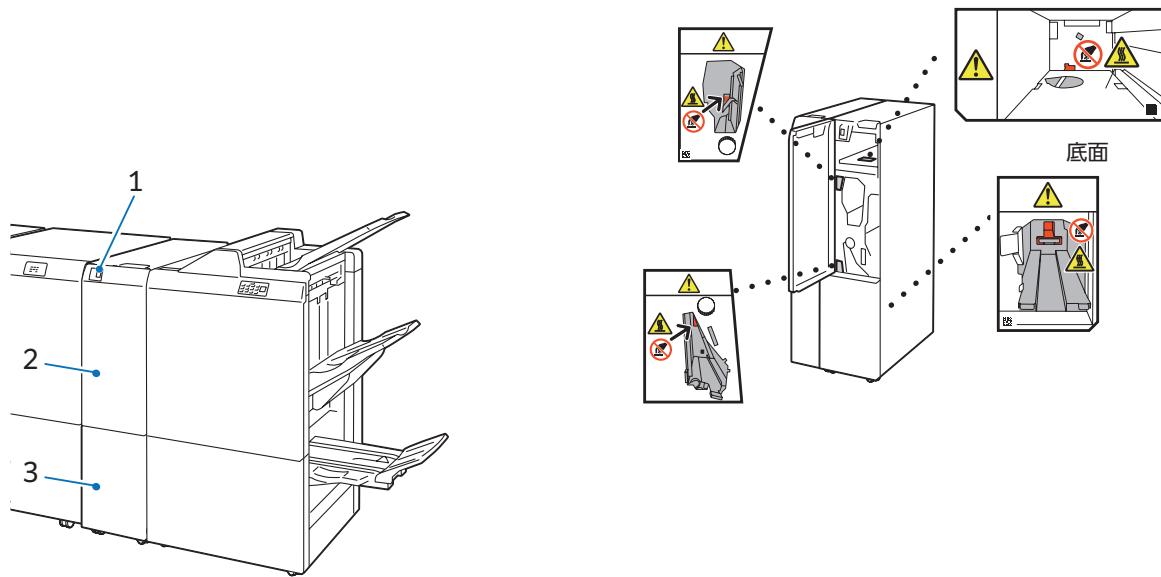
2. 詰まっていた用紙のカール方向を確認し、カール補正をします。

参考

「カール補正」 (P.25)

5 紙折りユニット

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置

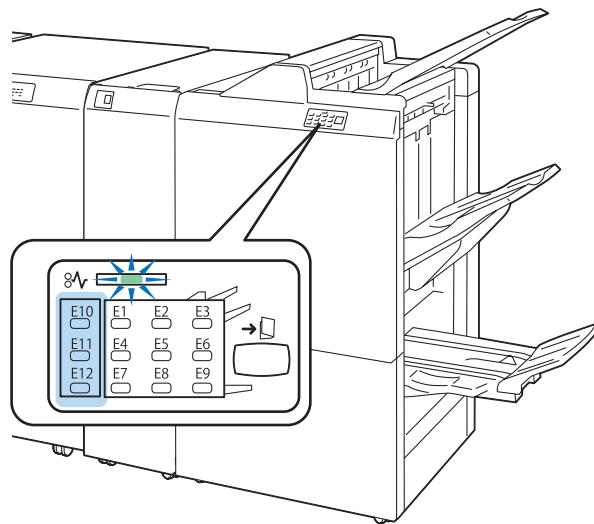


No.	名称	説明
1	三つ折り排出トレイボタン	三つ折り排出トレイから用紙を取り出すとき、このボタンを押します。 ランプの点滅が点灯に変わり、ロックが解除されたら、三つ折り排出トレイが開きます。
2	カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。
3	三つ折り排出トレイ	三つ折りの場合、このトレイにだけ排出できます。

用紙が詰まった場合

補足

CD2では、フィニッシャー上部のエラーランプが点灯します。優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。



用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は【スタート】をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

1. カバーを開けます。

2. 詰まっている用紙を取り除きます。

ランプE10が点灯したとき P.33

ランプE11が点灯したとき P.34

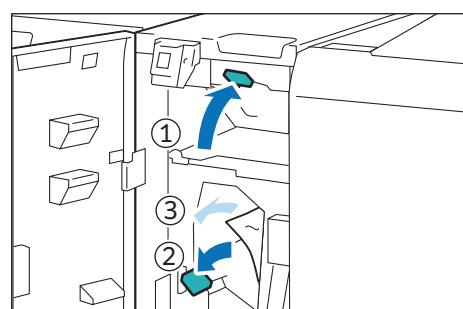
ランプE12が点灯したとき P.34

.....

■ ランプE10が点灯したとき

(1) レバー [2a] を上方向 (①)、レバー [2b] を左方向に開いて (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

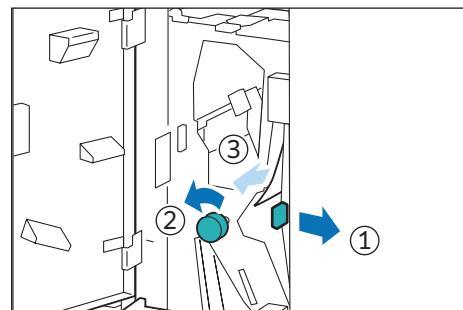
(2) レバー [2a]、レバー [2b] を戻します。



.....
■ ランプE11が点灯したとき

(1) レバー [2g] を右方向に開いて (①)、ノブ [2c] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

(2) レバー [2g] を戻します。

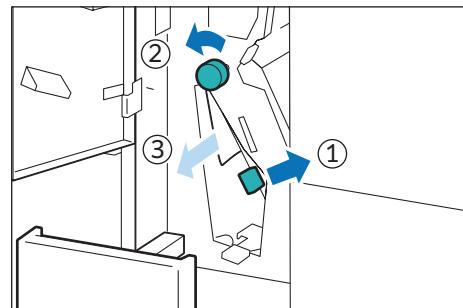


.....
■ ランプE12が点灯したとき

(1) 三つ折り排出トレイ [2d] を引き出します。

(2) レバー [2e] を右方向に開いて (①)、ノブ [2c] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

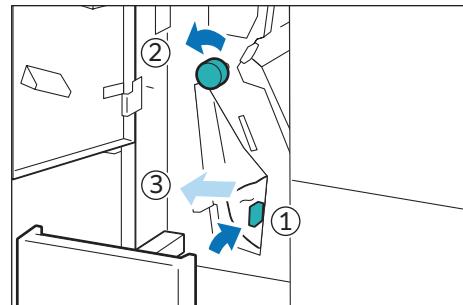
(3) レバー [2e] を戻します。



(4) 用紙が取りづらい場合は、レバー [2f] を右方向に開いて (①)、ノブ [2c] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

(5) レバー [2f] を戻します。

(6) 三つ折り排出トレイ [2d] を元の位置に差し込みます。



.....
3. カバーを閉じます。

4. 詰まっていた用紙のカール方向を確認し、カール補正をします。

 参照

「カール補正」 (P.25)

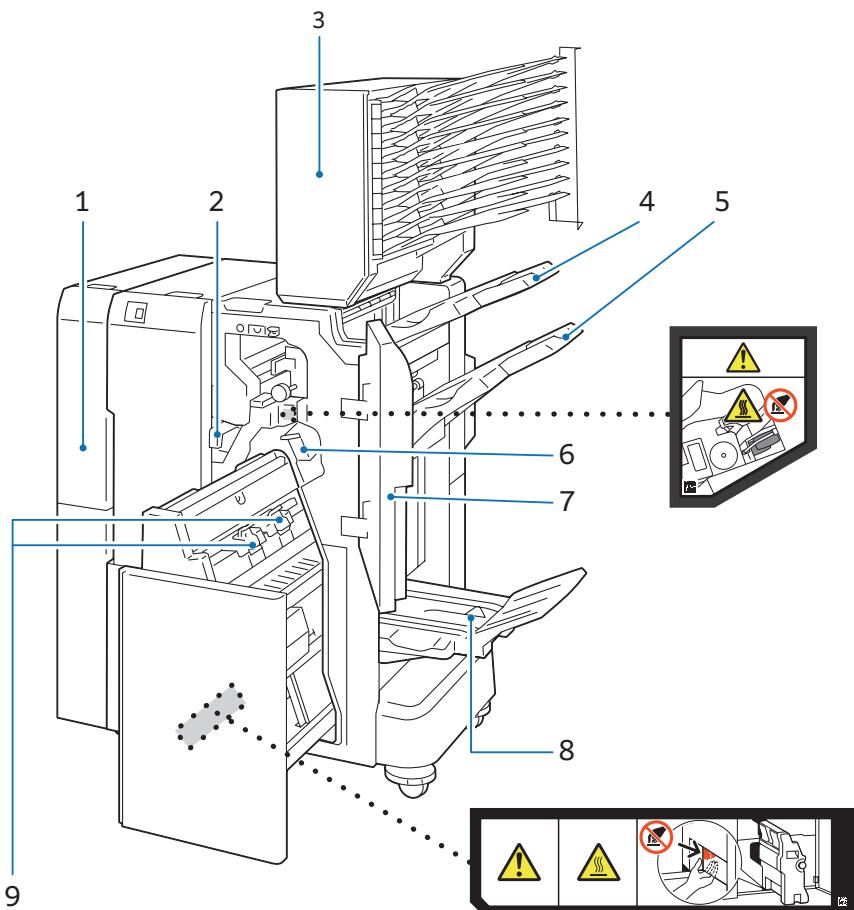
6 フィニッシャーC

本文中では、「フィニッシャーC4/C5」、「中とじフィニッシャーC4/C5」を総称して「フィニッシャーC」と記載しています。フィニッシャーCを使うことで、ステープル、針なしステープル（フィニッシャーC5/中とじフィニッシャーC5の場合）、パンチなどの機能を利用できます。

補足

- ・針なしステープルは、針ありステープルと同等のとじ力はありません。
- ・針なしステープルは、用紙、気温や湿度、めくり方によって、とじ部分がはがれやすくなることがあります。

各部の名称と働き/警告ラベルの位置



No.	名称	説明
1	トランSPORTユニットVフロントカバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。
2	パンチダストボックス	パンチした切りくずが入ります。 65 参照 ダストボックスの切りくずを捨てる方法は、装置に貼り付けられているラベルを参照してください。
3	10ビン出力装置	指定したビンへ排出できます。1ビンには100枚まで収納できます。
4	排出トレイ	用紙が排出されます。
5	フィニッシャートレイ	平とじ処理された用紙が排出されます。
6	平とじ用ホチキスカートリッジ	平とじ用のホチキス針を交換するためのユニットです。

No.	名称	説明
7	カバー	紙詰まりの処置、ホチキスカートリッジの交換や針づまりの処置、パンチ穴の切りくずを捨てるときに、このカバーを開きます。
8	製本トレイ	中とじ/二つ折り処理された用紙が排出されます。
9	中とじ用ホチキスカートリッジ	中とじ用のホチキス針を交換するためのユニットです。2個あります。

ホチキスカートリッジ

■ ホチキスカートリッジの交換

弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

消耗品の発注は、商品コードを確認のうえ、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご注文ください。

消耗品の交換時期になると、操作パネルにメッセージが表示されます。指示された消耗品を交換してください。

交換の方法は装置に貼り付けられているラベルに記載された手順を参照してください。

注記

不要となった消耗品は適切な処理が必要です。消耗品は、無理に開けたりせず、必ず弊社、または販売店にお渡しください。

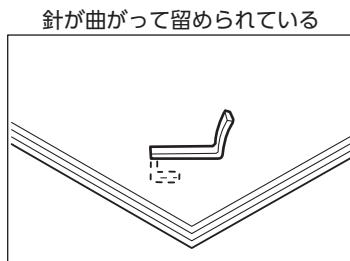
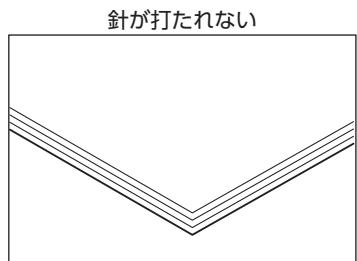
補足

- ・消耗品を交換するときは、電源が入った状態で行ってください。
- ・ホチキス針を使い切ってから交換してください。

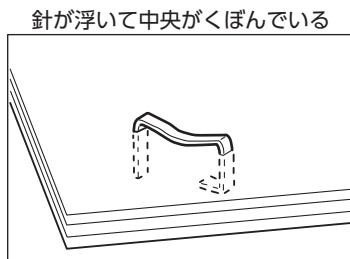
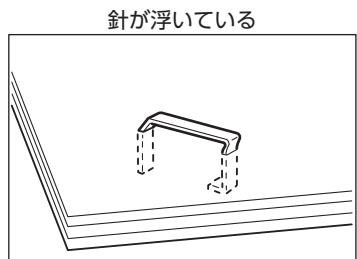
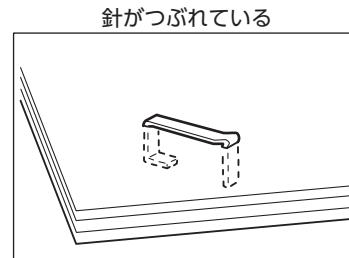
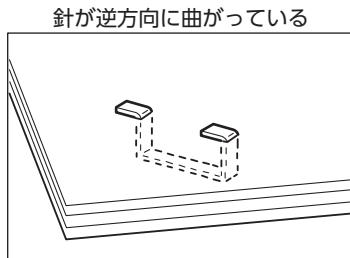
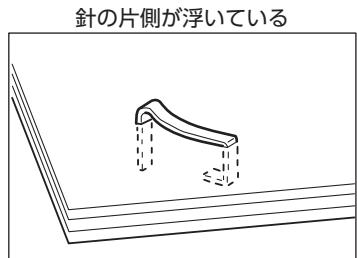
■針が詰まった場合

ホチキス針が打たれなかったり、ホチキス針が曲がって留められていたりしたら、次ページ以降の手順に従って処置します。

処置しても改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。



次のようにホチキス針が打たれているときは、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。



⚠ 注意

詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

■ 補足

- 用紙の種類など使用条件によっては、ホチキス針が曲がって留められていたり、曲がったホチキス針がユニット内に引っかかったりして、紙詰まりの原因となることがあります。
- ホチキスカートリッジのカバーを開いた場合は、すべての曲がったホチキス針を必ず取り除いてください。曲がったホチキス針を取り除かないと、針詰まりの原因となります。ホチキスカートリッジのカバーは、詰まったホチキス針を取り除くときだけ開けてください。

平とじ用ホチキスカートリッジ

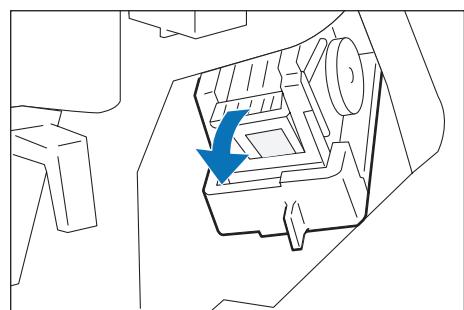
- タッチパネルディスプレイで [機械確認 (メーター確認)] > [消耗品確認] > [ホチキスカートリッジ (R1)] > [確認/補給] をタップします。
- 本機が停止していることを確認し、カバーを開けます。

3. レバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

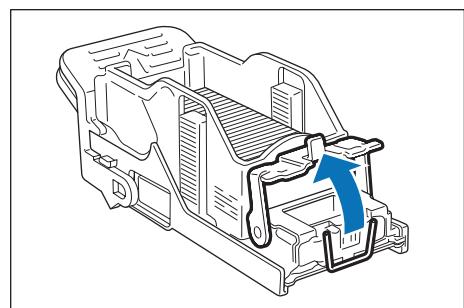


65枚ステープルユニットでは、レバーを下方向に倒して、ホチキスカートリッジを取り出します。

4. フィニッシャー内部にホチキス針がないか確認します。



5. ホチキスカートリッジの金属部分を押し上げます。

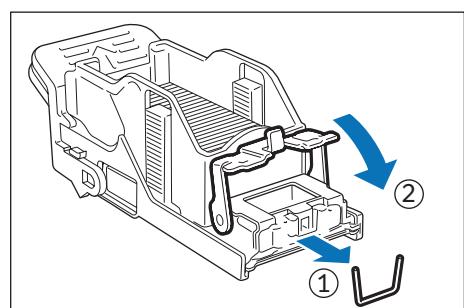


6. 詰まっているホチキス針を取り除き (①)、押し上げた金属部分を元に戻します (②)。

7. ホチキスカートリッジを元の位置に差し込みます。

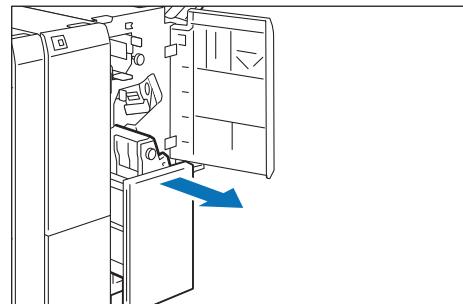
レバーを持ち、カチッと音がするまで軽く押し上げます。

8. カバーを閉じます。

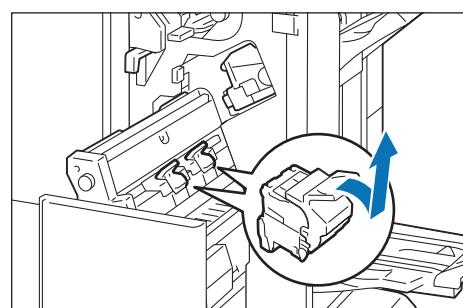


中とじ用ホチキスカートリッジ

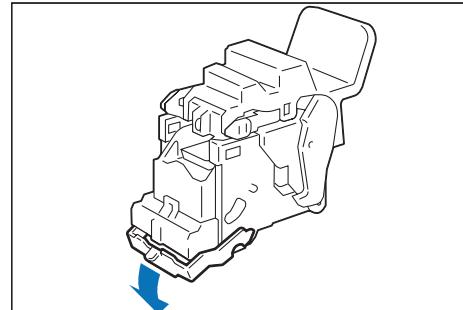
1. 本機が停止していることを確認し、カバーを開けます。
2. 中とじユニット [4] を引き出します。



3. ホチキスカートリッジ (R2) (R3) のレバーを持ち、そのまま引き抜きます。



4. 詰まっているホチキス針を取り除きます。



5. ホチキスカートリッジを元の位置に差し込みます。

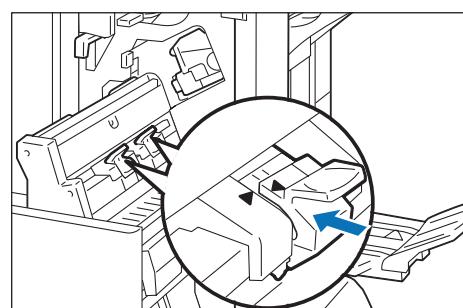
レバーを持ち、カチッと音がするまで軽く押し上げます。

補足

▲マークが合うようにします。

6. 中とじユニット [4] を押し込みます。

7. カバーを閉じます。



用紙が詰まった場合

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

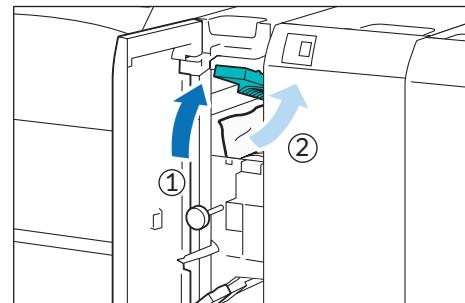
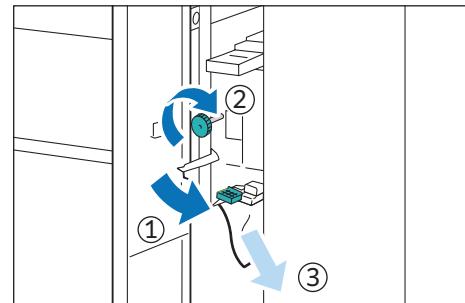
紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は [スタート] をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

トランSPORTユニット

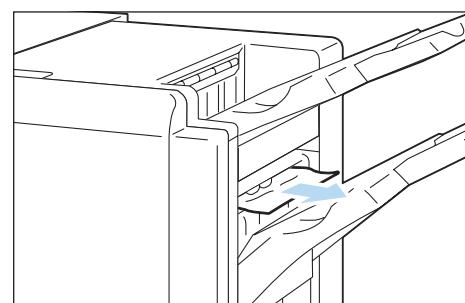
1. カバーを開きます。
2. レバー [1c] を右方向に開いて (①)、ノブ [1b] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
3. レバー [1c] を戻します。
4. 用紙が取りづらい場合は、レバー [1a] を上方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
5. レバー [1a] を戻します。
6. カバーを閉じます。



排出口

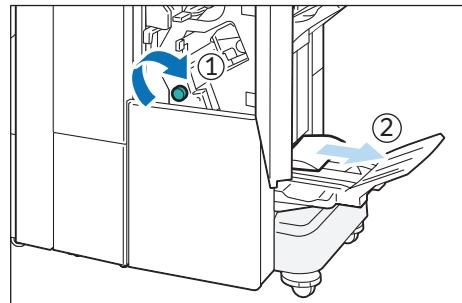
フィニッシャートレイ

- (1) 排出口に詰まっている用紙を取り除きます。



■ 製本トレイ

- (1) カバーを開けます。
- (2) 排出口に詰まっている用紙を右方向に取り除きます。
- (3) 用紙が取りづらい場合は、ノブ [4a] を右方向に回し (①)、排出口に詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (4) カバーを閉じます。

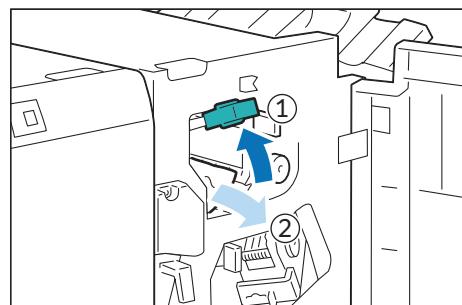


■ カバー内部

1. カバーを開きます。
-

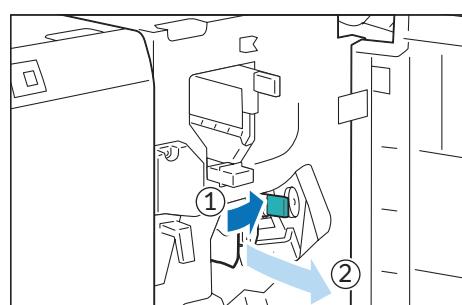
■ レバー [3a]

- (1) レバー [3a] を上方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (2) レバー [3a] を戻します。



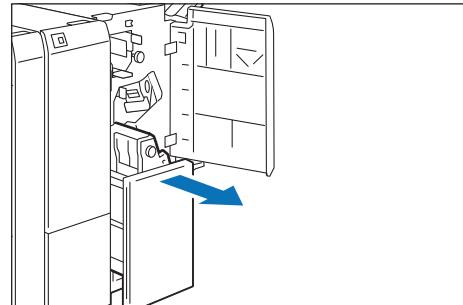
-
- ### ■ レバー [3d]

- (1) レバー [3d] を右方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (2) レバー [3d] を戻します。



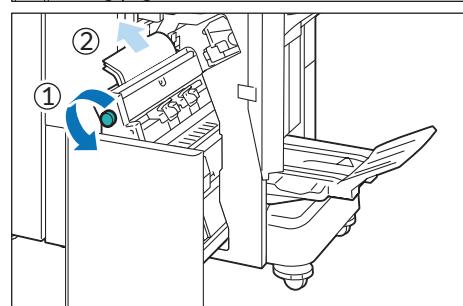
.....
■中とじユニット

(1) 中とじユニット [4] を引き出します。



(2) ノブ [4a] を左方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

(3) 中とじユニット [4] を押し込みます。



.....
2. カバーを閉じます。

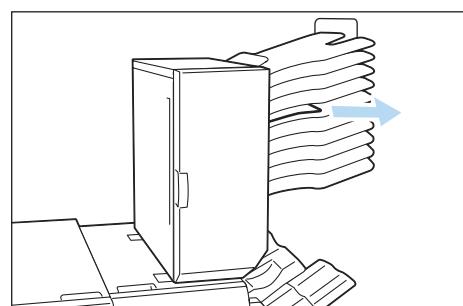
■10ピン出力装置

1. 排出口に詰まっている用紙を取り除きます。

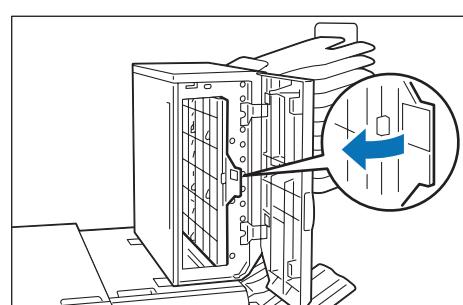
 **補足**

用紙が取りづらい場合は、ピンを持ち上げて間隔を広げて取り除きます。

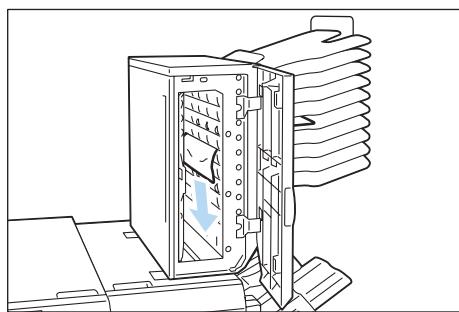
2. カバーを開きます。



3. 内カバー [7a] を左方向に開きます。

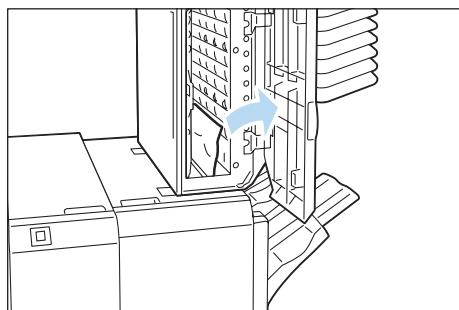


4. 排出口に詰まっている用紙を下方向に取り除きます。



5. 下側に詰まっている用紙を上方向に取り除きます。

6. カバーを閉じます。

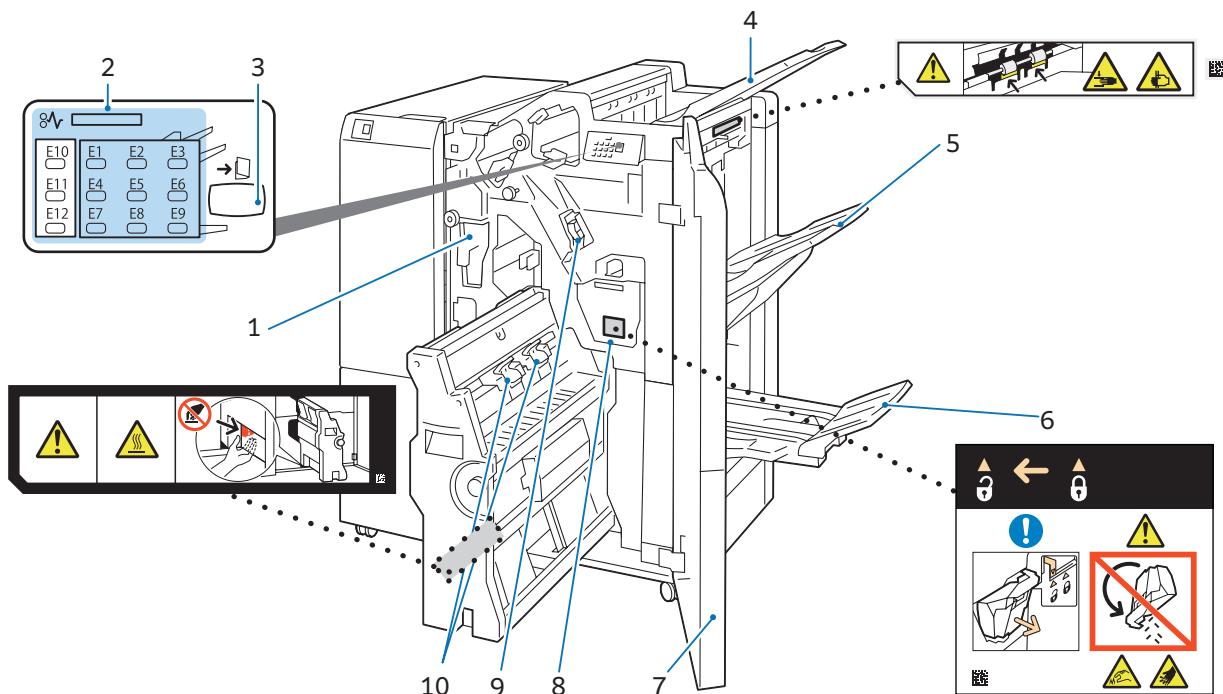


7 フィニッシャーD

本文中では、「フィニッシャーD6」、「中とじフィニッシャーD6」を総称して「フィニッシャーD」と記載しています。

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置

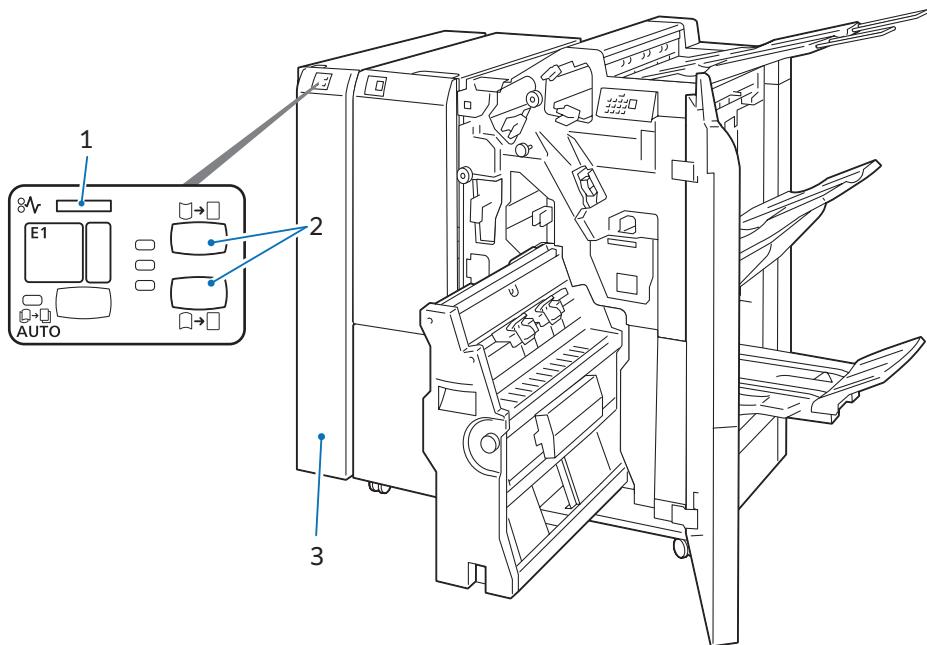
フィニッシャー



No.	名称	説明
1	パンチダストボックス	パンチした切りくずが入ります。 6d 参照 ダストボックスの切りくずを捨てる方法は、装置に貼り付けられているラベルを参照してください。
2	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
3	製本排出ボタン	ボタンを押すと、製本トレイに排出された用紙が取り出し位置まで移動します。
4	排出トレイ	用紙が排出されます。
5	フィニッシャートレイ	平とじ処理された用紙が排出されます。 補足 下向きカールが大きい用紙を2,000枚以上排出した場合、用紙が崩れることがあります。 この場合、インターフェイスデカラーラーのカール補正を一番下、インターポーラーのカール補正を下にしてください。
6	製本トレイ	中とじ/二つ折り処理された用紙が排出されます。
7	カバー	紙詰まりの処置、ホチキスカートリッジの交換や針づまりの処置、パンチ穴の切りくずを捨てるときに、このカバーを開きます。

No.	名称	説明
8	ホチキスダストボックス	ホチキスの針くずが入ります。
9	平とじ用ホチキスカートリッジ	平とじ用のホチキス針を交換するためのユニットです。
10	中とじ用ホチキスカートリッジ	中とじ用のホチキス針を交換するためのユニットです。2個あります。

インターフェイスモジュール



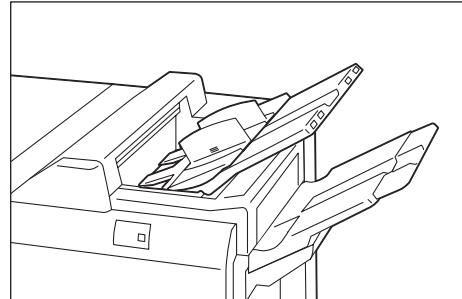
No.	名称	説明
1	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
2	カール補正ボタン	補正方法は、インターフェイスデカラーラーと同じです。ただし、補正の度合いは、OFF/上向き/下向きの3段階になります。 6.2 参照 「カール補正」(P.25)
3	カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。

用紙の排出

■排出トレイ

積載ガイド

封筒を使用するときは、排出トレイに重ねます。

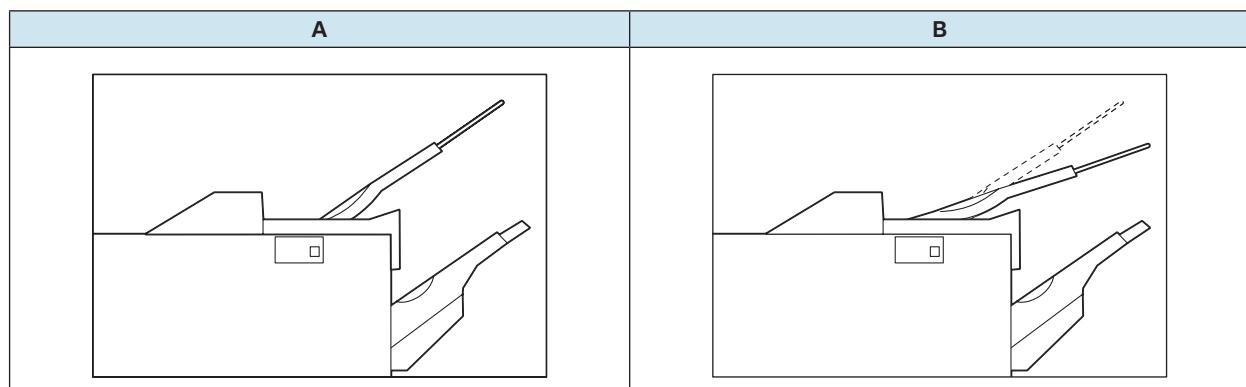


角度変更

排出された用紙が排出口に残り、すぐに用紙満杯が検知されるときは、角度を変更します。

特に次の場合、用紙フルが検知されやすいので、Bの位置に角度を変更します。

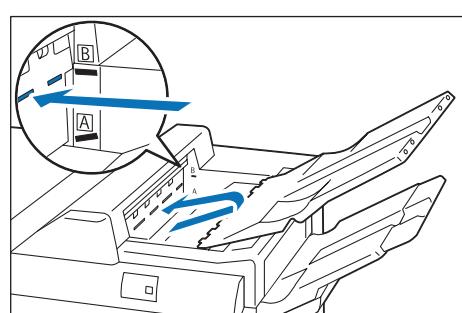
- ・うす紙コート紙
- ・よこ：364 mm以上のコート紙
- ・長尺用紙



排出トレイを右側に引いて下側の固定位置（A）から抜き、トレイ先端のツメを、上側の固定位置（B）に差し込みます。

■補足

- ・通常は、下側の固定位置にしておいてください。
- ・排出口上側の固定位置のままにしておくと、排出トレイから用紙が落下したり、フィニッシャートレイへの排出時に紙詰まりが発生したりすることがあります。
- ・用紙がカールしていると、角度変更の効果が得られません。



■長尺用延長キット

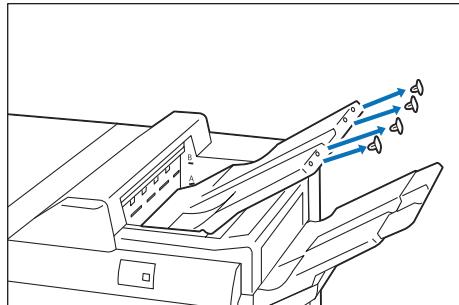
長尺用紙の先端を垂れ下げずに収納できます。

注記

トレイ容量を超える用紙を積載すると、延長トレイが破損するおそれがあります。

■延長トレイ

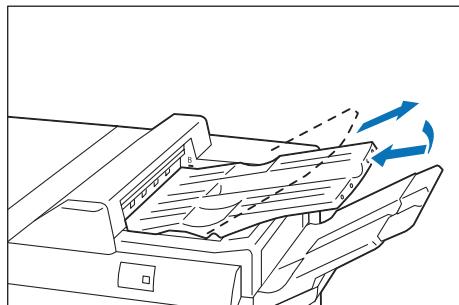
- (1) 排出トレイ裏側からキャップをつまみながら押して、排出トレイの先端にあるキャップ（4か所）を外します。



- (2) 排出トレイの角度を上側の固定位置（B）にします。

補足

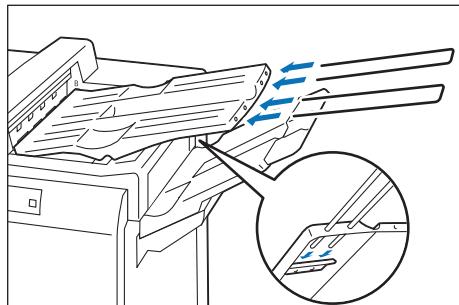
たて：256 mm以下の用紙は、下側の固定位置（A）にしてください。



- (3) 延長トレイ（2本）をいっぱいまで差し込みます。

補足

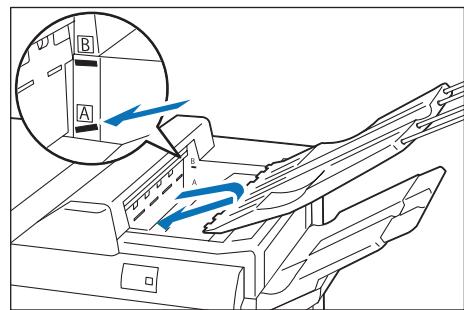
トレイ裏側にあるガイドの上を通るようにして、突き当たるまで差し込みます。



■うす紙収納用ワイヤー

うす紙の収納がうまく行かないときは、ワイヤーを取り付けます。

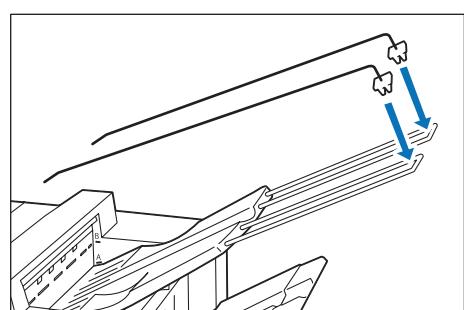
(1) 排出トレイの角度を下側の固定位置 (A) にします。



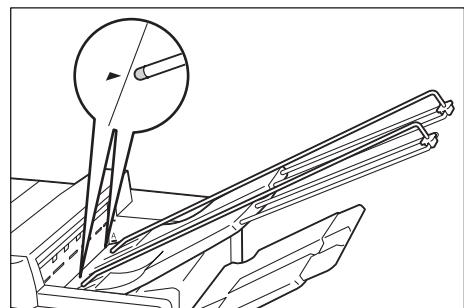
(2) 延長トレイにワイヤーを取り付けます。

補足

延長トレイを手で持ちながら、固定具をしっかりと押し込んで、延長トレイからワイヤーが外れないことを確認してください。

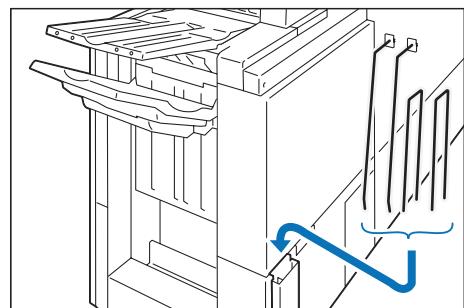


(3) ▲マークに合わせて、ワイヤーの位置を調整します。



■ 使用しないとき

フィニッシャー背面の収納ケースに格納します。



用紙がカールしているとき

- A5ロで、上向きにカールしていると、紙詰まりが発生することがあります。
インターフェイスモジュールの場合：インターフェイスモジュールのカール補正を上にします。
インターフェイスデカーラー+インターポーザーの場合：インターフェイスデカーラーのカール補正を一番上、インターポーザーのカール補正を上にします。
- 厚紙で下向きにカールしていると、紙詰まりが発生することがあります。
インターフェイスモジュールの場合：インターフェイスモジュールのカール補正を下にします。
インターフェイスデカーラー+インターポーザーの場合：インターフェイスデカーラーのカール補正を一番下、インターポーザーのカール補正を下にします。
- 157 g/m²以上の用紙で、上向きにカールしていると、紙詰まりが発生することがあります。
インターフェイスモジュールの場合：インターフェイスモジュールのカール補正を上にします。
インターフェイスデカーラー+インターポーザーの場合：インターフェイスデカーラーのカール補正を一番上、インターポーザーのカール補正を上にします。

68 参照

「カール補正」 (P.25)

ホチキスカートリッジ

■ ホチキスカートリッジ/ホチキスダストボックスの交換

弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

消耗品の発注は、商品コードを確認のうえ、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご注文ください。

消耗品の交換時期になると、操作パネルにメッセージが表示されます。指示された消耗品を交換してください。

交換の方法は消耗品の箱（またはラベル）に記載された手順を参照してください。

注記

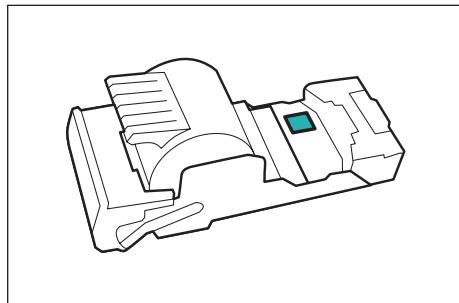
不要となった消耗品は適切な処理が必要です。消耗品は、無理に開けたりせず、必ず弊社、または販売店にお渡しください。

補足

消耗品を交換するときは、電源が入った状態で行ってください。

■ 平とじ用ホチキスカートリッジ

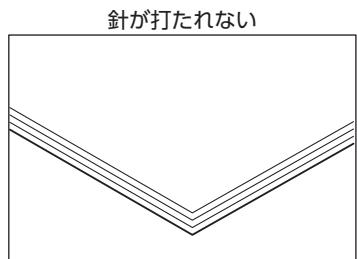
ホチキス針を使い切ってから交換してください。ホチキス針の有無は残量窓で確認できます。



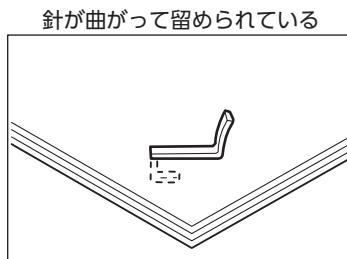
■針が詰まった場合

ホチキス針が打たれなかったり、ホチキス針が曲がって留められていたりしたら、次ページ以降の手順に従って処置します。

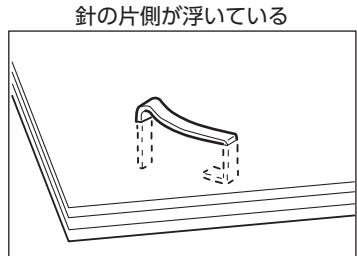
処置しても改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。



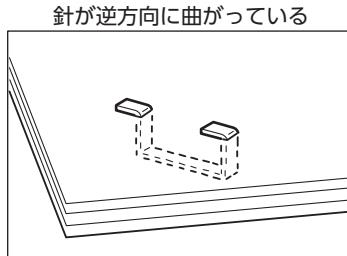
針が打たれない



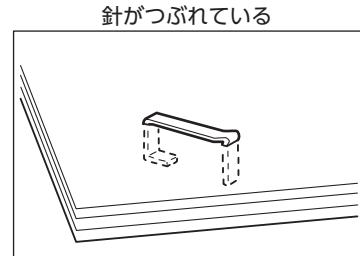
針が曲がって留められている



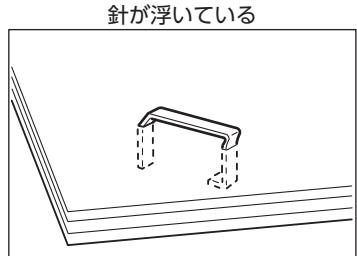
針の片側が浮いている



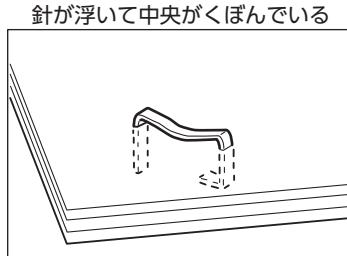
針が逆方向に曲がっている



針がつぶれている



針が浮いている



針が浮いて中央がくぼんでいる

⚠ 注意

詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

補足

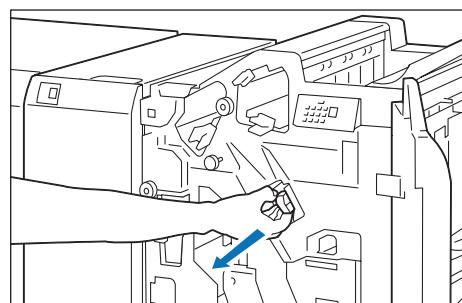
- 用紙の種類など使用条件によっては、ホチキス針が曲がって留められていたり、曲がったホチキス針がユニット内に引っかかったりして、紙詰まりの原因となることがあります。
- ホチキスカートリッジのカバーを開いた場合は、すべての曲がったホチキス針を必ず取り除いてください。曲がったホチキス針を取り除かないと、針詰まりの原因となります。ホチキスカートリッジのカバーは、詰まったホチキス針を取り除くときだけ開けてください。

平とじ用ホチキスカートリッジ

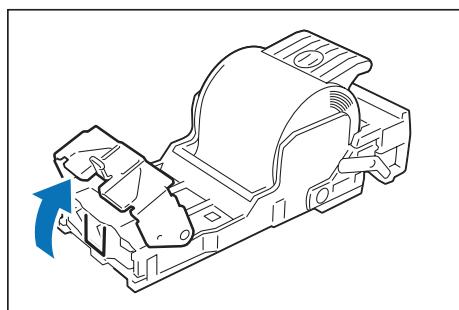
- 本機が停止していることを確認し、カバーを開けます。
- [R1] を引き出します。

補足

ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャー内部にホチキス針がないか確認します。

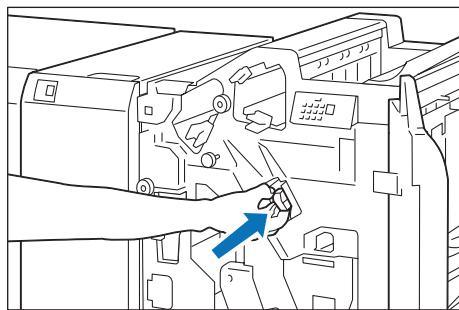


3. ユニットのカバーを開け、詰まっているホチキス針を取り除きます。



4. ユニットを元の位置に差し込みます。

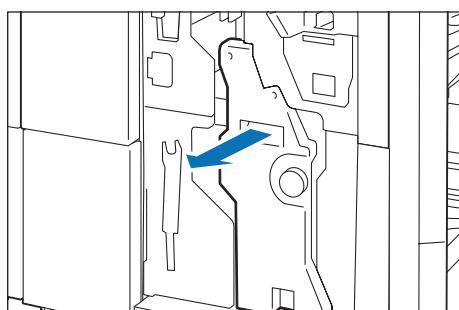
5. カバーを閉じます。



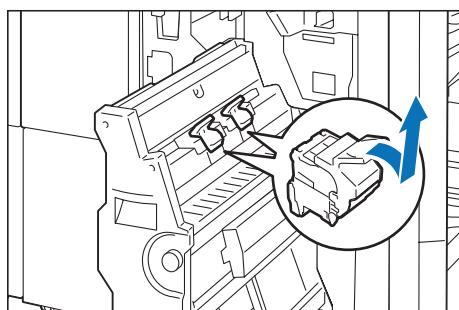
中とじ用ホチキスカートリッジ

1. 本機が停止していることを確認し、カバーを開けます。

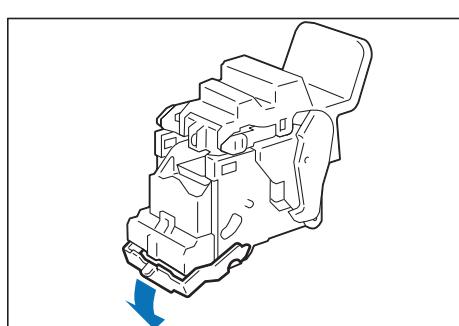
2. 中とじユニット [3] を引き出します。



3. ホチキスカートリッジ (R2) (R3) のレバーを持ち、そのまま引き抜きます。



4. 詰まっているホチキス針を取り除きます。



5. ホチキスカートリッジを元の位置に差し込みます。

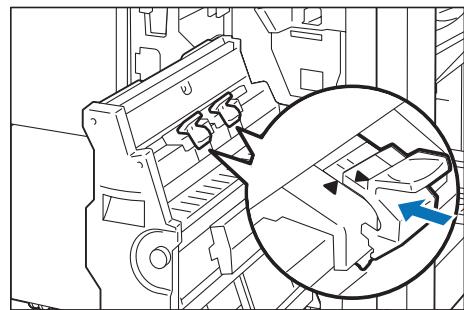
レバーを持ち、カチッと音がするまで軽く押し上げます。

補足

▲マークが合うようにします。

6. 中とじユニット [3] を押し込みます。

7. カバーを閉じます。



■平とじ用ホチキスカートリッジが外れたとき

操作時の落下などによって、ホチキスカートリッジがユニットから外れてしまったら、次の手順で処置します。

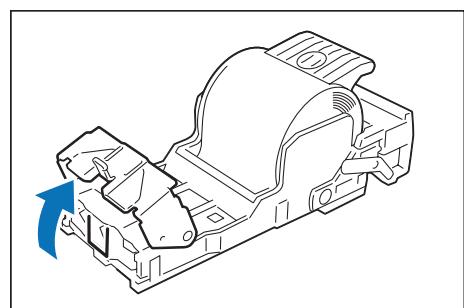
注意

曲がったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

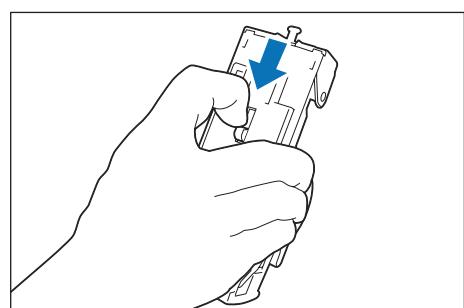
補足

ホチキスカートリッジがユニットから切り離されてしまったときも、同様に処置します。

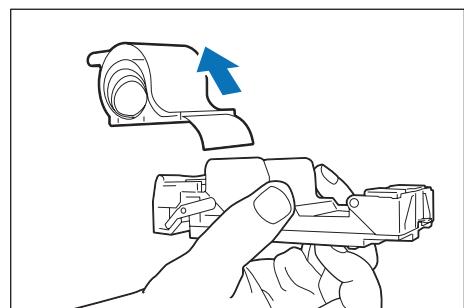
1. ユニットのカバーを開けて、曲がっているホチキス針をすべて取り除きます。



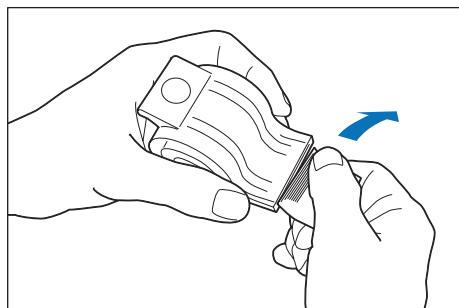
2. ユニットのうら面のレバーを矢印の方向に移動します。



3. レバーを移動したままおもて面を向け、ホチキスカートリッジをユニットから引き抜きます。



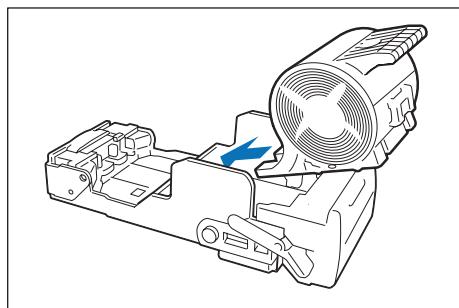
4. ホチキスカートリッジの外側に出ていている部分のホチキス針を切り離します。



⚠ 注意

ホチキス針を切り離すときは、指などにケガをしないよう十分注意してください。

5. ホチキスカートリッジをユニットに差し込みます。



用紙が詰まつた場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は【スタート】をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

■ フィニッシャー

1. カバーを開けます。

2. 詰まっている用紙を取り除きます。

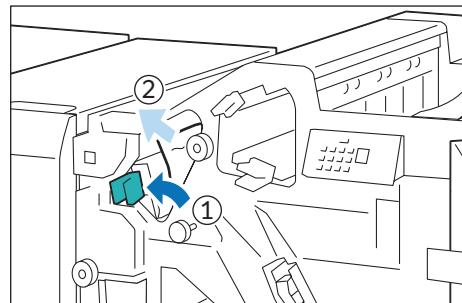
ランプE1が点灯したとき	P.55
ランプE2が点灯したとき	P.56
ランプE3が点灯したとき	P.56
ランプE4が点灯したとき	P.56
ランプE5が点灯したとき	P.56
ランプE6が点灯したとき	P.57

■ ランプE1が点灯したとき

(1) レバー [1a] を左方向に開いて (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

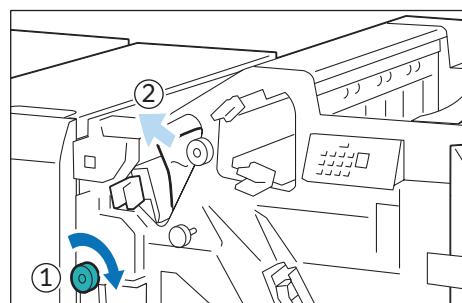
補足

用紙先端をつかんで取り除いてください。



(2) 用紙が取りづらい場合は、ノブ [1b] を右方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

(3) レバー [1a] を戻します。



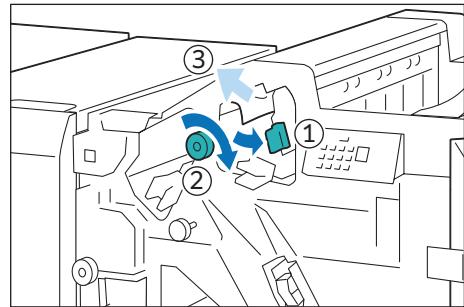
.....
■ ランプE2が点灯したとき

- (1) レバー [1c] を右方向に開いて (①)、ノブ [1e] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

 **補足**

詰まった用紙が上部に隠れていることがあります。

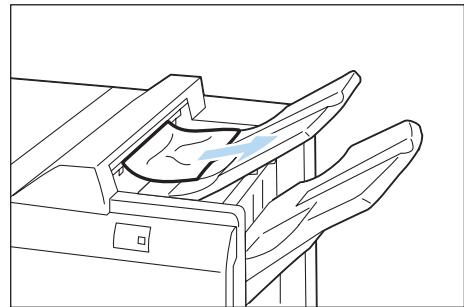
- (2) レバー [1c] を戻します。



.....
■ ランプE3が点灯したとき

- (1) 排出トレイの排出口に詰まっている用紙を取り除きます。

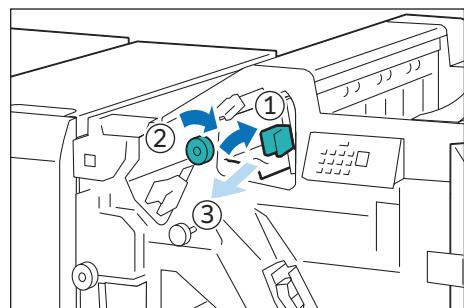
- (2) カバーを開閉します。



.....
■ ランプE4が点灯したとき

- (1) レバー [1d] を右方向に開いて (①)、ノブ [1e] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

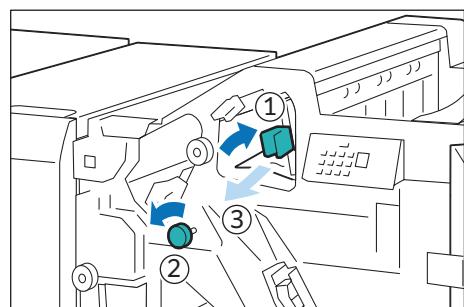
- (2) レバー [1d] を戻します。



.....
■ ランプE5が点灯したとき

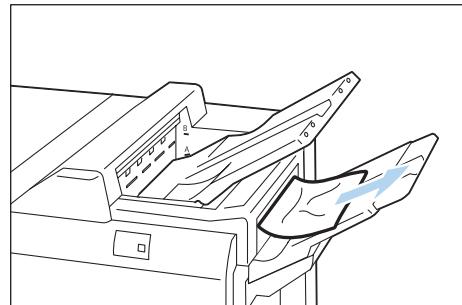
- (1) レバー [1d] を右方向に開いて (①)、ノブ [1f] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

- (2) レバー [1d] を戻します。



.....
■ ランプE6が点灯したとき

- (1) フィニッシャートレイの排出口に詰まっている用紙を取り除きます。
(2) カバーを開閉します。



3. カバーを閉じます。

4. 詰まっていた用紙のカール方向を確認し、カール補正をします。

 参照

「カール補正」 (P.25)

■ 中とじユニット

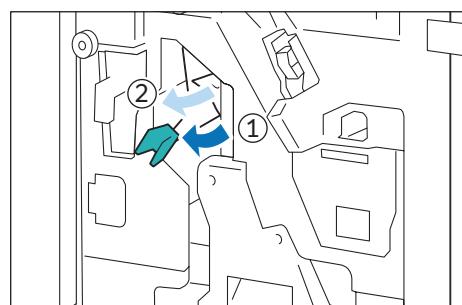
1. カバーを開けます。

2. 詰まっている用紙を取り除きます。

ランプE7が点灯したとき	P.57
ランプE8が点灯したとき	P.58
ランプE9が点灯したとき	P.58

.....
■ ランプE7が点灯したとき

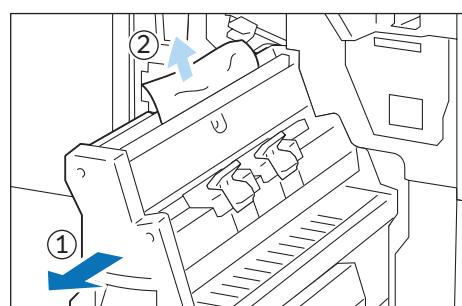
- (1) レバー [3a] を左方向に開いて (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。



- (2) 用紙が取りづらい場合は、中とじユニット [3] を引き出し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

(3) レバー [3a] を戻します。

(4) 中とじユニット [3] を押し込みます。

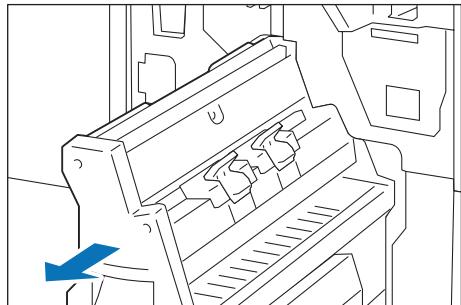


.....
■ ランプE8が点灯したとき

(1) 中とじユニット [3] を引き出します。

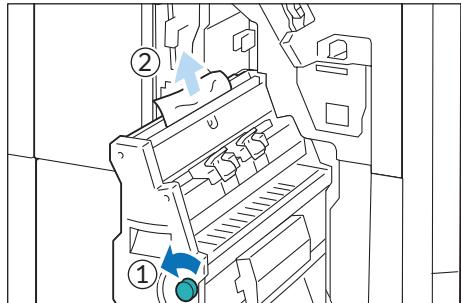
 **補足**

引き出す前に、レバー [3a] に用紙が詰まっていないことを確認してください。



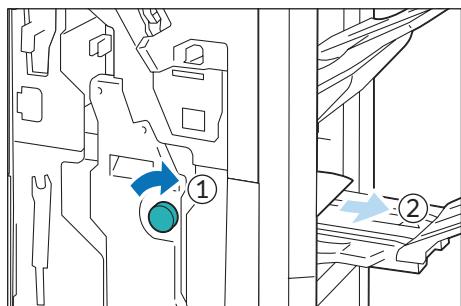
(2) ノブ [3b] を左方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

(3) 中とじユニット [3] を押し込みます。



.....
■ ランプE9が点灯したとき

(1) ノブ [3b] を右方向に回し (①)、製本トレイに排出された用紙を取り除きます (②)。



3. カバーを閉じます。

4. 詰まっていた用紙のカール方向を確認し、カール補正をします。

 **参考**

「カール補正」 (P.25)

■インターフェイスモジュール

1. カバーを開けます。
2. レバー [1a] を右方向に開いて (①)、ノブ [1c] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
3. レバー [1a] を戻します。
4. 用紙が取りづらい場合は、レバー [1b] を上方向に開いて (①)、ノブ [1c] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
5. レバー [1b] を戻します。
6. カバーを閉じます。

